

**添付資料**

Project Title: アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理能力と衛生行動改善プロジェクト Target Area: アッチモ・アンドレファナ県4郡  
 Target Group: G1<給水施設整備関連>治水省アッチモ・アンドレファナ県支局(DRE)、コミュニティ(給水施設管理監督機関)、給水施設管理組織(水管理委員会(CPE)、民間委託、コミュニティ)  
 G2<衛生啓発・衛生教育関係>教育省アッチモ・アンドレファナ県支局(DREN)、学区事務所(CISCO)、地区教育事務所(ZAP)、公立小学校(EPP)、  
 保健省アッチモ・アンドレファナ県支局(DRS)、保健省郡支部(SSD)、保健センター(CSB)、ボランティア保健普及員

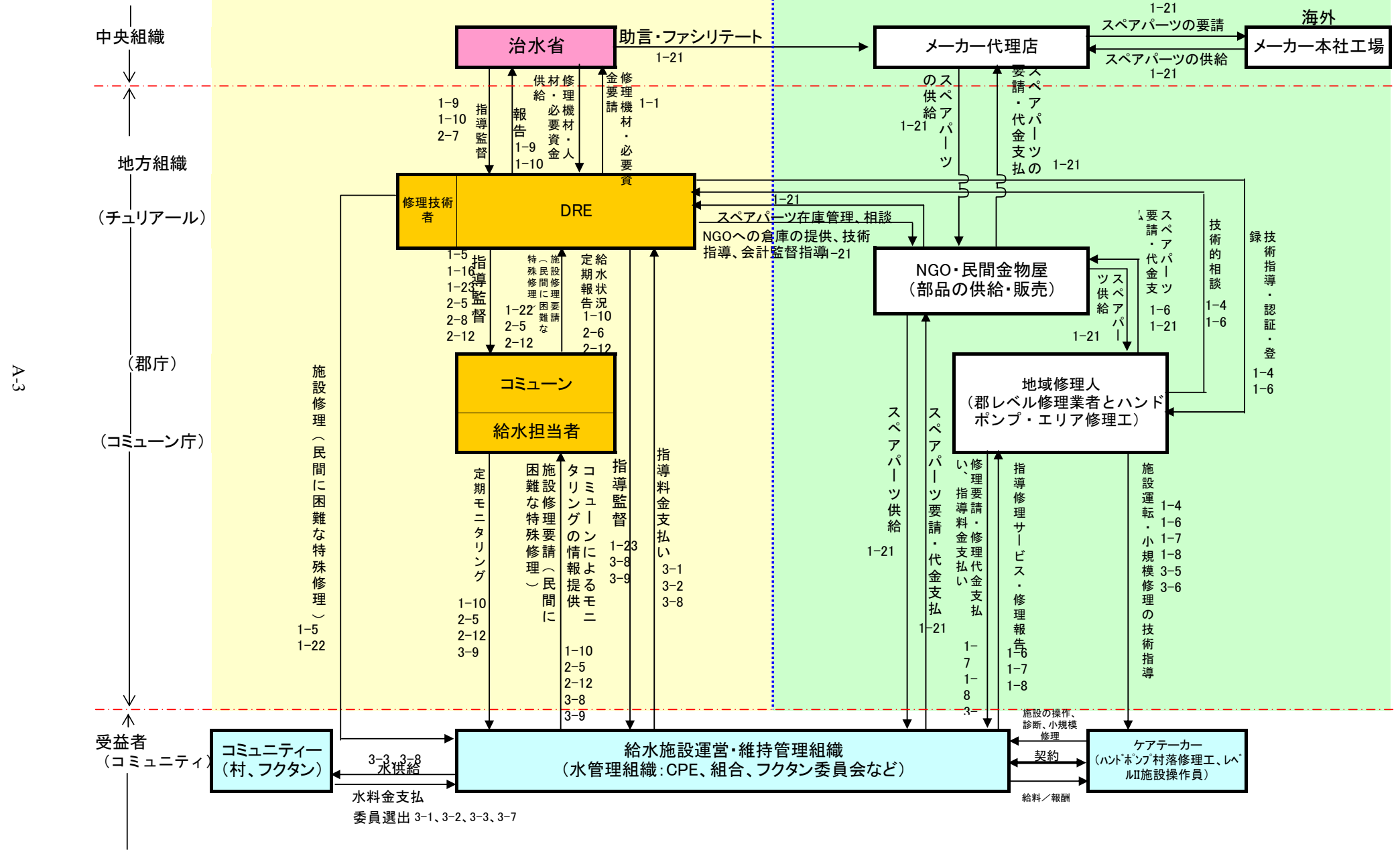
Project Period:

ver.3 作成日:2011年7月29日

プロジェクト要約	指標	入手手段	外部条件
<b>上位目標:</b> アッチモ・アンドレファナ県で給水施設維持管理体制と衛生啓発普及体制が確立・稼働する。	1. 2015年にアッチモ・アンドレファナ県内の給水率が40% (2007年事前調査時データ)から65%に増加する 2. 2015年にアッチモ・アンドレファナ県において、報告書を提出するコミュニティ数が50以上になる。	1. コミュニティからの報告書 2. インベントリデータ	・「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。
<b>プロジェクト目標:</b> アッチモ・アンドレファナ県の対象4郡において、給水施設維持管理体制の確立と衛生啓発普及体制の活性化がなされる	1. 「維持管理体制」を踏まえた運営維持管理状況の定期報告がDREから治水省へ四半期ごとになされる。 2. 2012年2月までに、対象4郡において、コミュニティからDREへの報告レポート提出の割合が0%から50%になる。 3. 日本が建設した施設の稼働率が45% (2009年鈴村調査時データ)から60% (2011年12月)に増加する (注: 対象4郡の施設の内、XX%は日本が建設した施設である) 3-1 対象コミュニティにおける稼働率がXX% (2010年6月コミュニティ研修時収集データ)からYY% (2011年12月)に増加する 3-2 24パイロットサイトの稼働率70% (2009年鈴村調査時データ)が100%に増加する 4. DREN,DRSPの主導により、2011年11月までに、対象4郡のプロジェクト対象学校・保健センターに対して衛生啓発普及・衛生教育にかかる研修が行われる。 5. 2012年2月までに、対象4郡のプロジェクト対象県・郡・コミュニティ(DRSP-SDSP-CSB)の間で、年に1回以上モニタリング結果の報告が行われる。 6. 2012年2月までに、対象4郡のプロジェクト対象県・郡・コミュニティ(DREN-CISCO-ZAP-EPP)の間で、年に1回以上モニタリング結果の報告が行われる。	1. DRE定期報告書 2. コミュニティ定期報告書 3. 事業進捗報告書第2号、コミュニティ定期報告書、アッチモ・アンドレファナ県BDEA 4. DREN、DRSP作成の研修実施計画および参加者リスト 5. DRSP作成のモニタリング実施計画、フィードバック会合の記録(コミュニティレベル)、経験交流ワークショップ(県・郡レベル)アジェンダ 6. DREN作成のモニタリング実施計画、フィードバック会合の記録(コミュニティレベル)、経験交流ワークショップ(県・郡レベル)アジェンダ	・「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。 ・中央地方の関係諸機関によるプロジェクトへの支援が継続する。
<b>成果</b>	<b>指標</b>		
1.アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理に対する技術支援者として、DRE職員のコミュニティ、村落レベルへの維持管理指導及び関係諸機関との調整能力を強化する手法が確立する。	1-1 DREがスペアパーツの販売を委託しているNGOから販売実績や在庫の状況について毎月報告を受ける	NGOからDREへの月例報告書	
	1-2 技術研修後に16人の地域修理人がDREによって登録される。	TSの一覧表 TS資格証明書	
	1-3 対象4郡のパイロット外コミュニティに対する研修を専門家の主導ではなく、DREの主導で実施する。	DRE定期報告書	
	1-4. DREの主導により給水・衛生分野の関係諸機関の定期会合が1年に1回行われる。	会議議事録、DRE定期報告書	
2. 対象コミュニティ内の給水施設所持ちとしてコミュニティの施設管理・管理委託組織への監督能力を強化する手法が確立する。	2-1. プロジェクト終了時までに対象15コミュニティが、対象24サイト以外の少なくとも3フクタン・村落に対してコミュニティの役割を説明する。	コミュニティ活動議事録	
	2-2. 対象15コミュニティが、コミュニティマニュアルに基づいて、地域内の施設状況(稼働・維持管理)について地方局へ四半期に1回報告を行う。	コミュニティ定期報告書	
3. 村落・フクタンレベルにおける給水施設の日常管理者として給水施設維持管理組織の施設維持管理能力を強化する手法が確立する。	3-1. 2012年2月末までに、対象24サイトにおいて施設の操作・日常点検・修理記録がマニュアルに沿って行われている。	TRノート、コミュニティ定期報告書	
	3-2. 2012年2月までに対象24サイトの水管理組織内で出納帳が記録されている。	銀行手帳、会計ノート	
	3-3 2011年12月までに施設の運転資金を除いた積立金(少なくとも100,000AR)を貯蓄しているサイトが8%から30%に増加する。	銀行手帳、会計ノート	
4. DREN、DRSおよび対象4郡内の行政機関(CISCO、ZAP、公立小学校、SSD、保健センター)による衛生啓発・衛生教育活動が改善される	4-1. 2011年12月までに、改善された研修プログラム(衛生教育・衛生活動)が関係機関に承認される。	承認ワークショップにおいて署名されたミニッツおよび研修ガイド(最終版)	
	4-2. 2012年2月までに、改善された衛生教育・衛生啓発活動研修プログラムを用いて、教育省県支局(DREN)と保健省県支局(DRSP)が研修計画を策定する。	2011年度(2011.08~2012.02)研修実施計画、2012年研修実施計画(案、2012.03~2012.12)	
	4-3. 2012年2月までに、対象4郡のプロジェクト対象小学校で、トレーニングを受けた教員、校長、父兄が衛生教育活動を計画し、定期的実施している。	DRENおよびDRSモニタリングシート、および、モニタリングシート(EPPの活動)、DRENおよびDRSモニタリングシート、および、モニタリングシート(EPPの活動)	
	4-4. 2012年2月までに、4-3の活動を定期的に(四半期に1回)管轄ZAPがモニタリングし、フォローアップを行う。	ZAPからの定期(四半期)報告	
	4-5. 2012年2月までに、対象4郡のプロジェクト対象CSBで、トレーニングを受けた保健センター職員が保健ボランティア普及員の活動を定期的に(四半期に1回)モニタリングし、フォローアップを行う。	CSBからの定期(四半期)報告	

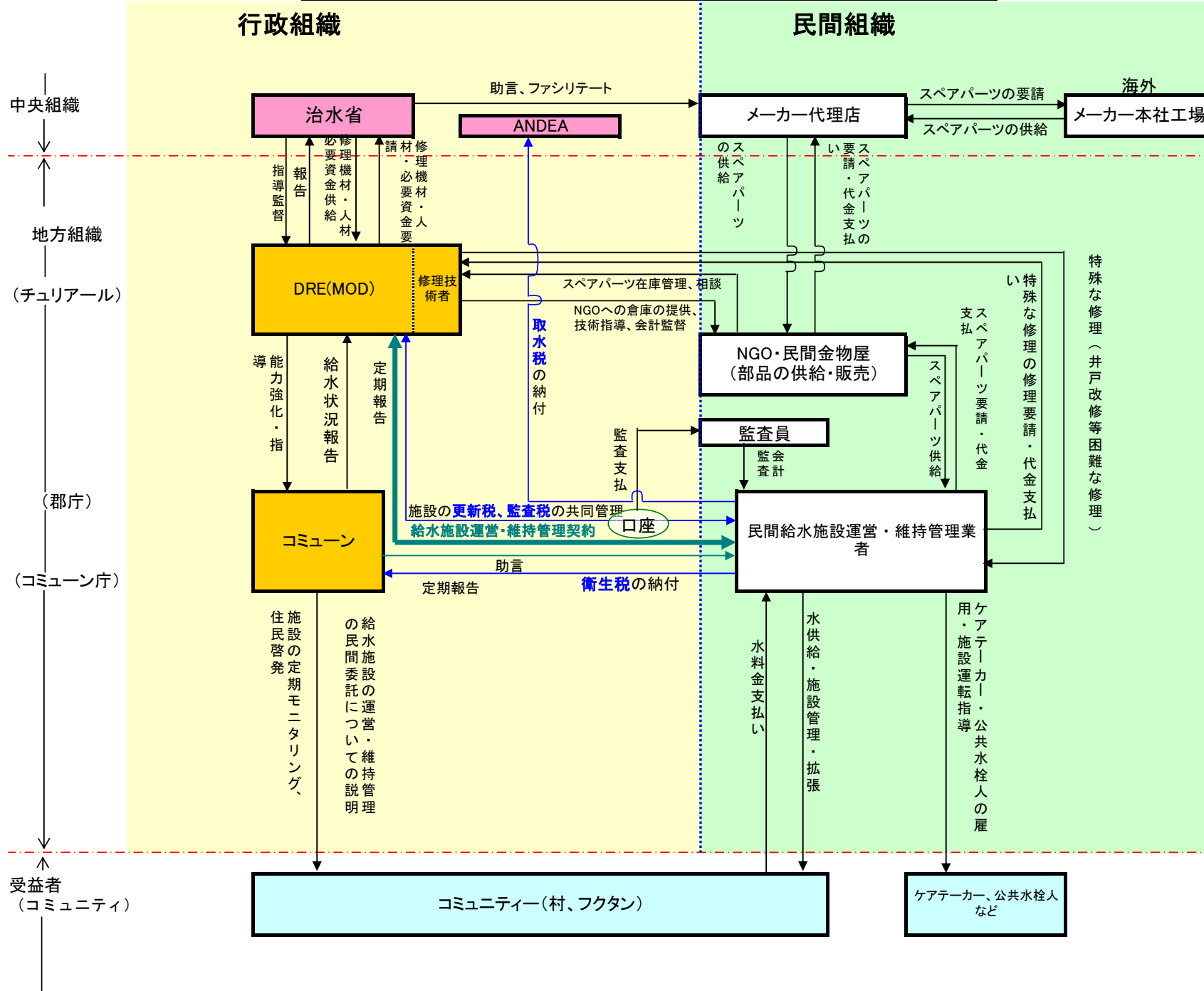
活動:	投入:	【マ国側】	外部条件:
<p><b>【成果1】アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理に対する技術支援者として、DRE職員のコミュン、村落レベルへの維持管理指導及び関係諸機関との調整能力を強化する手法が確立する</b></p> <p>1-1 DRE職員が水政策・DREの役割について再学習を行う</p> <p>1-2 DRE職員が給水施設維持管理に関わるコミュニティの役割について再学習を行う</p> <p>1-3 DRE職員がパイロットコミュニティへ、水政策・DREとコミュニティの役割について研修を行う</p> <p>1-4 地域修理人向けの修理マニュアルをDRE職員と専門家が共同で作成する</p> <p>1-5 DRE職員に対し、レベルI・IIの改修・操作・点検研修を行う。</p> <p>1-6 DRE職員と専門家が、地域修理人に対し、レベルI・IIの改修・操作・点検に係る実地指導を行う</p> <p>1-7 DRE職員と専門家が地域修理人と協議し修理サービス料金設定の為の計算式を設定する。</p> <p>1-8 DRE職員と専門家が、修理に関するアクターの整理とアクター間のネットワーク構築の支援をする。</p> <p>1-9 DRE職員が給水施設管理者-コミュニティ-DRE-治水省(中央)間の定期報告・モニタリング体制を構築する</p> <p>1-10 DRE職員と専門家が、全維持管理アクター向けのマニュアルに含めるモニタリングフォームを作成す</p> <p>1-11 定期報告・サイトモニタリングを通し、DREが対象24サイトの施設状況(稼動・維持管理)についてデータ整理・管理確認を行う</p> <p>1-12 DRE職員がデータ更新体制に沿って、治水省(中央)へ収集データの報告を行う</p> <p>1-13 DRE職員が首都において他県DRE、他ドナーに対し、試行したデータ更新体制を共有する</p> <p>1-14 DRE職員の主導で、「維持管理体制」の試行結果を含む水・衛生分野の情報をDRE、DREN、DRS間で共有することを目的とした定例会議を企画する</p> <p>1-15 DRE職員の主導で、「維持管理体制」の試行結果を含む水・衛生分野の情報をDRE、DREN、DRS間で共有することを目的とした定例会議を開催する</p> <p>1-16 DRE職員と専門家が 対象4郡内のパイロット外コミュニティにおいて水政策・DREとコミュニティの役割について研修を企画・実施する</p> <p>1-17 DRE職員と専門家が県レベルでセミナーを開催し、対象外5郡に対して、4郡での維持管理事例を紹介する。</p> <p>1-18 DRE職員が給水・衛生分野に係る各種業者入札におけるDREの役割について、コミュニティへの技術移転を目的として再学習を行う。</p> <p>1-19 水・衛生セクターの関連諸機関と会合を中央レベルで開催し、プロジェクトの成果を共有する</p> <p>1-20 DRE職員と専門家が、コミュニティ給水担当者が実施する24パイロットサイトの運営状況のモニタリングに対し、指導を行う</p> <p>1-21 スベアパーツ供給体制の構築のための情報収集、アクターへの説明、マニュアル作成・ネットワーク作りをDRE職員と協働して行う</p> <p>1-22 DRE用マニュアルを作成し、取りまとめる。</p> <p>1-23 DRE職員がコミュニティの定期報告受領後にCPEの活動のモニタリング/指導を行う。</p> <p>1-24 DRE職員が、施主代理としての役割について、再学習をする。</p>	<p><b>【日本側】</b></p> <p>1. 専門家派遣</p> <p>-総括</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全活動管理、他ドナー・CPへの提言、技術研修・維持管理研修総括</li> <li>・コーチング担当</li> <li>・地方局職員へのOJT担当</li> </ul> <p>-技術研修担当:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設改修、井戸改修、改修研修計画立案</li> <li>・維持管理研修担当:</li> <li>・維持管理研修計画立案</li> <li>・研修コーディネート</li> <li>・現地再委託監理</li> </ul> <p>-衛生啓発担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生啓発研修計画立案</li> <li>・研修コーディネート</li> <li>・トイレ建設現地再委託監理</li> <li>・業務調整</li> <li>・全体調整</li> <li>・予算管理</li> </ul> <p>2. 現地費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベースライン調査/インパクト調査</li> <li>-現地雇用講師</li> <li>・コミュニティ研修講師</li> <li>・水管理委員会研修講師</li> </ul> <p>3. 機材調達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務機器</li> <li>・井戸改修用機材</li> </ul>	<p>1. カウンターパート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方局(DRE)局長(1)</li> <li>・地方局(DRE)オペレーション課課長(1)</li> <li>・地方局(DRE)技術職員(4)</li> <li>・保健省地方局(DRS)職員</li> <li>・教育省地方局(DREN)職員</li> </ul> <p>2. 施設:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト事務所</li> <li>・研修施設</li> <li>・調達機材倉庫</li> </ul> <p>3. プロジェクト運営費:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンターパート日当・宿泊費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方局(DRE)のカウンターパート職員が変更しない。</li> </ul>
<p><b>【成果2】コミュニティが将来給水施設の施主としての役割を果たすための能力強化の</b></p> <p>2-1 パイロット15コミュニティ職員が水政策・地方局の役割について研修を受ける</p> <p>2-2 パイロット15コミュニティ職員が給水施設維持管理に関わるコミュニティの役割について研修を受ける</p> <p>2-3 パイロット15コミュニティ内において、給水担当者を設置する</p> <p>2-4 パイロット15コミュニティがコミュニティ内施設の運営維持管理委託組織を明確にする</p> <p>2-5 コミュニティ給水担当者が対象24サイトにおいて、水管理組織の研修後、モニタリングを行う</p> <p>2-6 パイロット15コミュニティがコミュニティ用マニュアルに沿って、DREへの定期報告を行う</p> <p>2-7 コミュニティとDREの協働により、4郡のコミュニティ内の施設データを整理する</p> <p>2-8 パイロット15コミュニティが、施設の改修・更新または運営維持管理を民間に委託する場合のコミュニティの役割・手続きについて研修を受ける</p> <p>2-9 民間委託実施パイロットコミュニティが、民間委託管理の手続きについて研修を受け、パイロットコミュニティが開札・評価に参加する</p> <p>2-10 パイロット15コミュニティに対し、給水施設維持管理における水税の徴収と支出の管理を指導する</p> <p>2-11 対象4郡内のパイロット以外のコミュニティが水政策・DREとコミュニティの役割について研修を受ける</p> <p>2-12 DREと専門家の協働でコミュニティマニュアルを作成する</p>			<p><b>前提条件:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係諸機関がプロジェクトを支援することで合意する。</li> </ul>
<p><b>【成果3】村落・フクタンレベルにおける給水施設の日常管理者として給水施設維持管理者の施設維持管理能力を強化する手法が確立する</b></p> <p>3-1 対象24サイトのフクタン長・村長が水政策・地方局・コミュニティの役割についてDREおよび専門家から研修を受ける</p> <p>3-2 対象24サイトのフクタン長・村長が給水施設維持管理組織・給水施設利用者の役割について研修を受ける</p> <p>3-3 対象24サイトのフクタン長が給水施設維持管理者、水施設利用者の役割を住民総会において啓発し、給水維持管理組織を明確にする</p> <p>3-4 対象レベルサイトにおいて、ハンドポンプ村落修理工を選定する</p> <p>3-5 対象のレベルIサイトにおいて、選定されたハンドポンプ村落修理工がDREおよび専門家同伴のもと地域修理人により修理研修を受ける</p> <p>3-6 レベルIIサイトにおいて、選定された施設操作員が施設のメンテナンスについてDREおよび専門家同伴のもと地域修理人により研修を受ける</p> <p>3-7 水管理組織マニュアルを作成する</p> <p>3-8 DREおよび専門家が対象24サイトの給水施設維持管理組織に対し、維持管理能力研修(①役割分担②内部規定③水料金設定④出納帳管理⑤モニタリング体制)を行う</p> <p>3-9 対象24サイトに対し、DRE職員の下、コミュニティ職員が水管理組織研修後のモニタリングを行う</p>			
<p><b>【成果4】DREN、DRSおよび対象4郡内の行政機関(CISCO、ZAP、公立小学校、SSD、保健センター)による衛生啓発・衛生教育活動が改善される</b></p> <p>4-1 対象地域における衛生設備(便所)整備、衛生行動の状況を把握する</p> <p>4-2 既存の衛生教育・衛生啓発分野に関する教材を確認する</p> <p>4-3 衛生教育現場における課題(教授法、給水の現状)を把握する</p> <p>4-4 DRENによる衛生教育に関する研修プログラムを改善する</p> <p>4-5 改善されたプログラムを使ってDRENが研修を実施する</p> <p>4-6 現場における衛生啓発活動の課題を把握する</p> <p>4-7 DRSの衛生啓発活動に関する研修プログラムを改善する</p> <p>4-8 改善されたプログラムを使ってDRSが研修を実施する</p> <p>4-9 活動の結果を4-4、4-7の研修プログラムに反映させる</p> <p>4-10 4-2および研修結果を踏まえ、各種教材を改善する</p> <p>4-11 対象サイト内の保健センターと小学校において、保健センター職員・ボランティア保健普及員及び小学校教員に集中研修を実施する</p> <p>4-12 対象サイト内小学校に、衛生啓発・衛生教育用の施設(トイレ、簡易手洗い設備)を設置する(原則として既存の施設があるところは除く)</p> <p>4-13 対象コミュニティ内の保健センターと小学校において実施される、4-1を踏まえた衛生啓発活動及び衛生教育をモニタリングする</p> <p>4-14 DREN、DRSが3年次の年間研修計画およびモニタリング計画を策定する。</p>			

# 給水施設の運営・維持管理体制の組織案 (2011年8月2日合意版)



A-3

# 給水施設の運営・維持管理体制図 (民間委託) 2011. 08 11



**PROCES-VERBAL DE DISCUSSIONS**  
**ENTRE**  
**L'EQUIPE DU PROJET JICA**  
**ET**  
**LE MINISTERE DE L'EAU**  
**DU GOUVERNEMENT DE LA REPUBLIQUE DE MADAGASCAR**  
**SUR**  
**LA LISTE DE SITES**  
**POUR LE PROJET D'AMELIORATION DE LA GESTION DES SYSTEMES**  
**D'APPROVISIONNEMENT EN EAU POTABLE ET DES COMPORTEMENTS EN**  
**MATIERE D'HYGIENE DANS LA REGION ATSIMO-ANDREFANA,**  
**MADAGASCAR**

Le Ministère de l'Eau et l'équipe du Projet a mené une série de discussions sur la liste définitive des sites objet de formations pour le renforcement de capacité de la structure de gestion dans le cadre du Projet et les deux parties ont convenu des points mentionnés dans l'appendice du présent procès-verbal.

Antananarivo, le 23 septembre 2010



---

Pour le Ministère de l'Eau  
ROBINIRINA Aubert Rémi  
Directeur de l'Assainissement et de  
la Gestion des Ressources en Eau  
Directeur Général p i

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Naoko Suehiro', written over a horizontal line.

---

Pour l'équipe du Projet RANOFIDIO  
Naoko SUEHIRO  
Chargé de gestion maintenance  
Japan Techno Co.,Ltd.

**Appendice 1 : Liste des sites objet de formations  
pour le renforcement de capacité de la structure de gestion**

District	Commune	Site	Type d'ouvrage
Morombe	Ankatsakatsa-Sud	Antsakoabe	AEPP
		Ambiky	AEPP
	Befandriana-Sud	Befandriana	AEPP
		Ampoza	FPMH
	Antanimieva	Mangotroka	FPMH
Toliara II	Analamisampy	Soahazo	AEPP
		Namaboaha	AEPP
		Analamisampy	FPMH
		Belitsaka	AEPP
	Marofoty	Beroroaha	AEPP
	Ankilimalinike	Benetsy	AEPP
		Ankilimalinike	AEPP
	Ankilioaka	Antseba	FPMH
	Andranohinaly	Befoly	AEPP
		Andranohinaly	AEPP
Saint Augustin	Manoroka	FPMH	
Sakaraha	Andranolava	Andranolava	AEPP
		Besakoa	AEPP
	Andamasiny-Vineta	Tranokaky	AEPP
		Andamasiny-vineta	AEPP
	Ambinany	Maninday	FPMH
	Bereketa	Bereketa	AEPP
Ankazoabo	Tandrano	Tandrano	AEPP
	Ankazoabo	Tanandava	FPMH

FPMH : Forage équipé de pompe à motricité humaine

AEPP : Système d'adduction d'eau potable par pompage

Sites annulés et la raison d'annulation sont les suivants.

District	Commune	Site	ouvrage	Raison d'annulation
Toliara II	Manombo	Manombo Atm	AEPP	La reconstruction totale du système et la mise en place de la structure de gestion seront financées par l'ONG française SEDIF.
Sakaraha	Sakaraha	Sakaraha	AEPP	La reconstruction totale du système et la mise en place de la structure de gestion seront financées par la BAD / AEP 30 Grands Centres - PAEAR.
Ankazoabo	Ankazoabo	Ankazoabo	AEPP	

Les 3 sites de remplacement ; Belitsaka, Andamasiny Vineta et Bereketa ont été choisis suivant les critères de sélection ; l'état de l'ouvrage et de fonctionnement et à l'issue de l'étude sur terrain menée par l'équipe de Projet en concertation avec la DRE/Min Eau Tuléar.

Project Title: アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理能力と衛生行動改善  
 Target Area: アッチモ・アンドレファナ県の給水施設設置の4郡13コミューン20フクタン  
 Target Group: G1<給水施設整備関連>エネルギー省アッチモ・アンドレファナ県支局 (DIRE)、水管理委員会  
 G2<衛生・衛生教育関係>教育省アッチモ・アンドレファナ県支局 (DIRE)、学区事務所 (CISCO)、地区教育事務所 (ZAP)、公立小学校、保健省アッチモ・アンドレファナ県支局 (DRS)、保健省郡支部 (SSD)、保健センター (CSB)、ボランティア保健普及員  
 Project Period: 2008/4-2010/3 (2 years)

プロジェクト要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標: アッチモ・アンドレファナ県において給水施設維持管理能力と衛生行動が改善する。	プロジェクトのゴッドブラクティスが県内の関係諸機関に認識され、プロジェクトサイト以外の地域でも実践されている。	水委員会活動報告書、DIRE・DRS・DRENによる本省への定期報告書	「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。 中央地方の関係諸機関による水・衛生分野への支援が継続する。
プロジェクト目標: 対象地域における給水施設維持管理能力と衛生行動が改善する。	1. 対象地域の水管理委員会の財政状況が改善する。 2. サイト地域における住民の衛生意識・行動が改善される。	1. 水管理委員会活動報告書 2. 衛生ベースライン調査報告書、活動報告書	「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。 中央地方の関係諸機関による水・衛生分野への支援が継続する。
成果: 1. 対象地域の水管理委員会の給水施設の運営・維持管理能力が向上する。 2. エネルギー省支局 (DIRE) 及び対象地域の水管理委員会技術者の給水修理・更生能力が向上する。 3. 行政機関 (学校・保健センター等) の衛生啓発行政が改善する。 4. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトにおいて、地域住民の衛生概念・行動が改善する。 5. プロジェクトの成果・教訓が県内と国内で共有される。	1-1. 水管理マニュアル (組織運営/日常点検整備) が改編される。 1-2. 対象地域の水管理委員会が研修を修了する。 2-1. 修理マニュアルが改編される。 2-2. DIRE (3人) と対象地域の水管理委員会技術者 (20人) が修理技術研修を修了する。 2-3. 修理技術研修を受けたDIREと対象地域の水管理委員会家事技術者が少なくとも2給水施設で修理を実施する。 2-4. DIRE井戸掘削技術者6人が井戸更生工事の実習を終了する。 2-5. DIREが対象地域外の少なくとも10水管理委員会技術者に技術指導を行う。 3-1. 教育省支局の研修プログラム (衛生教育関連) が改善される。 3-2. 改善された研修プログラム (衛生啓発関連) を使って少なくとも年1回初等教育対象の研修が実施される。 3-3. 保健省支局の研修プログラム (衛生啓発関連) が改善される。 3-4. 改善された研修プログラム (衛生啓発関連) を使って少なくとも年1回保健センター職員及びボランティア保健普及員対象の研修が実施される。 4-1. サイト地域の少なくとも保健センター職員10人、ボランティア保健普及員10人、公立小学校10項が集中研修を修了する。 5-1. プロジェクトの成果・教訓取りまとめが関係諸機関に配布される。	1. 水管理委員会活動報告書、水管理 (組織運営/日常点検整備) マニュアル、プロジェクト報告書 2. 水管理委員会活動報告書、修理マニュアル、専門家報告書 (技術研修・修理) 3. 研修プログラム、研修報告書 4. 衛生ベースライン調査報告書、活動報告書 5. プロジェクトの成果・教訓取りまとめ	研修や活動の参加者がプロジェクト期間中に大きく変動しない。 水管理委員会による新たな活動や既存の規定の変更 (料金改定等) が住民に受け入れられる。
活動: 1-1. 対象地域の水管理委員会とパートナー水管理委員会の給水施設の運営・維持管理状況を確認する。 1-2. パートナー水管理委員会を再訓練 (経理、料金設定、徴収、日常の施設維持管理) する。 1-3. 水管理委員会に係る既存のマニュアルを改編する。 1-4. 改編されたマニュアルを基に、パートナー水管理委員会と協力して対象地域の水管理委員会の研修を実施する。 1-5. 1-4の研修を踏まえ、水管理委員会が管理活動 (料金改定等) を実施する。 1-6. 水管理委員会が作成する活動報告書等を基にモニタリングを行う。 2-1. エネルギー省支局 (DIRE) と対象地域の水管理委員会技術者の能力を把握する。 2-2. 既存の修理マニュアルを改編する。 2-3. DIREと対象地域の水管理委員会技術者に対し、技術研修を実施する。 2-4. 2-3に基づき、DIREと対象地域の水管理委員会技術者が給水施設を修理する。 2-5. 管路系給水施設 (レベル2)、手動ポンプ付き深井戸 (レベル1) のスペアパーツの種類別に流通経路を確認し、必要なスペアパーツを購入する。 2-6. DIREの井戸掘削技術者に対し、井戸の更生工事の実習を行う。 2-7. DIREが対象地域外の水管理委員会技術者に技術指導を行う。 3-1. 対象地域における衛生設備 (便所) 整備、衛生行動の状況を把握する。 3-2. 教育省支局 (DREN) の衛生教育分野に関する教材を確認する。 3-3. 衛生教育現場における課題 (教授法、給水の現状) を抽出する。 3-4. DREN (SEG) の研修プログラムを改善する。 3-5. 改善されたプログラムを使ってDREN (SEG) が研修を実施する。 3-6. 保健省支局 (DRS) の既存の衛生啓発活動及び使用教材を評価する。 3-7. 3-6を踏まえ、現場における衛生啓発活動の課題を抽出する。 3-8. DRSの研修プログラムを改善する。 3-9. 改善されたプログラムを使ってDRSが研修を実施する。 4-1. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトの保健センター職員・ボランティア保健普及員及び小学校教員に集中研修を実施する。 4-2. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトに、衛生啓発・衛生教育用の衛生施設 (トイレ、簡易手洗い設備) を設置する (既存の施設があるところは除く)。 4-3. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトにおいて、4-1を踏まえた衛生啓発活動及び衛生教育を実施する。 4-4. 活動の結果を3-4、3-8の研修プログラムに反映させる。 5-1. 県内の関係諸機関を集めてセミナーを開催し、プロジェクトの進捗と成果を発表する。 5-2. 県開発審議会においてプロジェクトの進捗と成果を発表する。	投入: 日本側: 1. 専門家の派遣 ・ 総括/村落給水1 (10.3MM) ・ 副総括/機械整備/井戸掘削 (8.7MM) ・ 衛生啓発 (11.5MM) ・ 研修計画/村落給水2/業務調整 (4.0MM) 2. 機材 3. 衛生施設建設 4. 車両 5. 現地活動費 マダガスカル側: 1. カウンターパート職員の配置 2. オフィス・スペース、事務所費用 3. マダガスカル側カウンターパートに必要な費用	前提条件: エネルギー省支局 (DIRE) のカウンターパート職員が変更しない。 関係諸機関がプロジェクトを支援売ることと合意する。	



Project Title: アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理能力と衛生行動改善プロジェクト Target Area: アッチモ・アンドレファナ県4郡において給水施設が設置されている24サイト  
 Target Group: G1<給水施設整備関連>治水省アッチモ・アンドレファナ県支局 (DRE)、コミュニティ (給水施設管理監督機関)、給水施設管理組織 (水管理委員会 (CPE)、民間委託、コミュニティ)  
 G2<衛生啓発・衛生教育関係>教育省アッチモ・アンドレファナ県支局 (DREN)、学区事務所 (CISCO)、地区教育事務所 (ZAP)、公立小学校 (EPP)、保健省アッチモ・アンドレファナ県支局 (DRS)、保健省郡支部 (SSD)、保健センター (CSB)、ボランティア保健普及員

Project Period: ver.2-2 作成日: 2010年4月22日

プロジェクト要約	指標	入手手段	外部条件
<b>上位目標:</b> アッチモ・アンドレファナ県で給水施設維持管理体制と衛生啓発普及体制が確立・稼働する。	1. アッチモ・アンドレファナ県内の施設稼働数がXX%からYY%に増加する 2. アッチモ・アンドレファナ県において、コミュニティからDREへの報告レポート数がXXになる。	1. コミュニティからの報告書 2. インベントリデータ	・「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。
<b>プロジェクト目標:</b> アッチモ・アンドレファナ県の対象4郡において、給水施設維持管理体制の確立と衛生啓発普及体制の活性化がなされる	1. (DREの主導により) 対象4郡においてパイロットコミュニティ以外のXXコミュニティに対して給水施設維持管理支援を行う。 2. 対象4郡において、コミュニティからDREへの報告レポート提出の割合が0%からXX%になる。 3. 対象4郡において、施設稼働数がXX%からYY%に増加する。 4. DREN,DRSの主導により、対象4郡のx x 学校・保健センターに対して衛生啓発普及・衛生教育にかかる研修が行われる。 5. DRS-SSD-CSBの間で四半期に1回モニタリング結果の報告が行われている。 6. DREN-CISCO-ZAP-EPPの間で半年ごとにモニタリング結果の報告が行われている。	1. 水管理委員会活動報告書 2. モニタリング調査 3. ベースライン調査報告書、活動報告書、インパクト調査報告書	・「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。 ・中央地方の関係諸機関によるプロジェクトへの支援が継続する。
<b>成果/Resultat</b>	<b>指標/Indicateur</b>		
1. アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理に対する技術支援者として、DRE職員のコミュニティ、村落レベルへの維持管理指導及び関係諸機関との調整能力を強化する手法が確立する。	1-1. 2年次末までに地方局職員がコミュニティ・村落へのファンリテーション能力の実地試験で合格基準を達成する。	コミュニティ研修報告書、研修後アンケート	・「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。
	1-2. 2年次末までに、地方局 (DRE) の技術職員が、修理技術実地試験に合格する。	修理技術実地試験結果	
	1-3. プロジェクト終了時までに、DREの主導により給水・衛生分野の関係諸機関の定期会合が半年に1回行われる。	会議議事録、年次活動報告書	
2. 対象コミュニティ内の給水施設所持者としてコミュニティの施設管理・管理委託組織への監督能力を強化する手法が確立する。	2-1. プロジェクト終了時までに対象16コミュニティが、対象24サイト以外の少なくとも3フクタン/村落に対してコミュニティの役割を説明する。	サイト研修報告書、研修後アンケート	
	2-2. 対象16コミュニティが、マニュアルを用いて、地域内の施設状況 (稼働・維持管理) について地方局へ四半期に1回報告を行う。	コミュニティ用モニタリング報告書	
3. 村落・フクタンレベルにおける給水施設の日常管理者として給水施設維持管理組織の施設維持管理能力を強化する手法が確立する。	3-1. 2年次末までに対象24サイトにおいて施設の操作・日常点検がマニュアルに沿って行われている。	給水施設点検記録、プロジェクトチームによるモニタリング報告書	
	3-2. 2年次末までに対象24サイトの維持管理組織内で出納帳が記録される。	銀行口座預金、組織内金庫預金、会計帳簿	
	3-3. 2年次末までに対象24サイトの維持管理組織がコミュニティに対して1ヶ月に1回報告をする。	給水施設維持管理記録	
4. DREN、DRSおよび対象4郡内の行政機関 (CISCO、ZAP、公立小学校、SSD、保健センター) による衛生啓発・衛生教育活動が改善される	4-1. プロジェクト終了時までに改善された研修プログラム (衛生教育・衛生啓発活動) が関係機関に承認される。	承認ワークショップ議事録	
	4-2. 2年次末までに改善された衛生教育・衛生啓発活動研修プログラムを用いて教育省県支局 (DREN) と保健省県支局 (DRS) が研修計画を策定する。	DRENおよびDRSの定期報告書	
	4-3. 20箇所以上の小学校で、トレーニングを受けた教員、校長、父兄が衛生教育活動を計画し、定期的実施している。	小学校の月例活動計画書、ZAPによるモニタリングシート	
	4-4. 4-3の活動を管轄ZAPがモニタリングし、フォローアップを行う。	CSB作成の啓発活動月例報告書 保健センター職員によるモニタリングシート	
	4-5. 20箇所以上のCSBで、トレーニングを受けた保健センター職員が保健ボランティア普及員の活動をモニタリングし、フォローアップを行う。		

活動:	投入:	外部条件:
<p><b>【成果1】アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理に対する技術支援者として、DRE職員のコミュニケーション、村落レベルへの維持管理指導及び関係諸機関との調整能力を強化する手法が確立する</b></p> <p>1-1 地方局職員が水政策・地方局の役割について再学習を行う</p> <p>1-2 地方局職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について再学習を行う</p> <p>1-3 地方局職員がパイロットコミュニケーションへ、水政策・地方局とコミュニケーションの役割について研修を行う</p> <p>1-4 地方局職員向けの修理マニュアルを作成する</p> <p>1-5 地方局職員に対し、レベルI・IIの改修・操作・点検研修を行う。</p> <p>1-6 地方局職員が、レベルI・IIの改修・操作・点検に係る実地指導を行う</p> <p>1-7 地方局職員が給水施設管理者→コミュニケーション→地方局という流れの定期報告体制を構築する</p> <p>1-8 地方局職員が定期報告体制・内容を含むモニタリング・マニュアルを作成する</p> <p>1-9 定期報告・サイトモニタリングを通し、地方局(DRE)が対象24サイトの施設状況(稼働・維持管理)についてデータ整理・管理を行う</p> <p>1-10 水・衛生分野の情報を共有することを目的としたDRE、DREN、DRSの定例会議を企画する</p> <p>1-11 水・衛生分野の情報を共有することを目的としたDRE、DREN、DRSの定例会議を開催する</p> <p>1-12 地方局職員が対象4郡内のパイロット外コミュニケーションにおいて水政策・地方局とコミュニケーションの役割について研修を企画・実施する</p> <p>1-13 県レベルでセミナーを開催し、対象外5郡に対して、4郡での維持管理事例を紹介する。</p> <p>1-14 地方局職員が給水施設維持管理に係る各種業者入札におけるDREの役割について、再学習を行う。</p> <p>1-15 水・衛生セクターの関連諸機関と会合を中央レベルで開催し、プロジェクトの成果を共有する</p> <p>1-16 地方局職員が対象24サイトにおいて、給水施設維持管理組織の研修後モニタリング・フォローアップを行う</p>	<p><b>【日本側】</b></p> <p>1. 専門家派遣</p> <p>・総括</p> <p>・全活動管理、他ドナー・CPへの提言、技術研修・維持管理研修総括</p> <p>・コーチング担当</p> <p>・地方局職員へのOJT担当</p> <p>技術研修担当:</p> <p>・施設改修、井戸改修、改修研修計画立案</p> <p>維持管理研修担当:</p> <p>・維持管理研修計画立案</p> <p>・研修コーディネート</p> <p>・現地再委託監理</p> <p>衛生啓発担当:</p> <p>・衛生啓発研修計画立案</p> <p>・研修コーディネート</p> <p>・トイレ建設現地再委託監理</p> <p>業務調整</p> <p>・全体調整</p> <p>・予算管理</p> <p>2. 現地費用</p> <p>・ベースライン調査/インパクト調査</p> <p>・現地雇用講師</p> <p>・コミュニケーション研修講師</p> <p>・水管理委員会研修講師</p> <p>3. 機材調達</p> <p>・事務機器</p> <p>・井戸改修用機材</p>	<p><b>【マ国側】</b></p> <p>1. カウンターパート</p> <p>・地方局(DRE)局長(1)</p> <p>・地方局(DRE)オペレーション課長(1)</p> <p>・地方局(DRE)技術職員(4)</p> <p>・保健省地方局(DRS)職員</p> <p>・教育省地方局(DREN)職員</p> <p>2. 施設:</p> <p>・プロジェクト事務所</p> <p>・研修施設</p> <p>・調達機材倉庫</p> <p>3. プロジェクト運営費:</p> <p>・カウンターパート日当・宿泊費</p>
<p><b>【成果2】対象コミュニティ内の給水施設所有者としてコミュニティの施設管理・管理委託者への監督能力を強化する手法が確立する</b></p> <p>2-1 パイロットI6コミュニティ職員が水政策・地方局の役割について研修を受ける</p> <p>2-2 パイロットI6コミュニティ職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について研修を受ける</p> <p>2-3 パイロットI6コミュニティ内において、給水施設担当者もしくは担当委員会を設置する</p> <p>2-4 パイロットI6コミュニティがコミュニティ内施設の維持管理委託組織を明確にし、各委託者と契約を交わす</p> <p>2-5 パイロットI6コミュニティ職員が対象24サイトにおいて、給水施設維持管理組織の研修後モニタリング・フォローアップを行う</p> <p>2-6 パイロットI6コミュニティがモニタリング・マニュアルに沿って、DREへの定期報告を行う</p> <p>2-6 コミュニティとDREの協働により、4郡のコミュニティ内の施設データを整理する</p> <p>2-7 パイロットI6コミュニティが村落レベルで対応できない施設の改修・更新に係るコミュニケーションの役割・手続きについて研修を受ける。</p> <p>2-8 民間委託実施パイロットコミュニティが、民間委託管理の手続きについて研修を受ける。</p> <p>2-9 パイロットI6コミュニティに対し、給水施設維持管理に水税の徴収と支出の管理を指導する。</p> <p>2-10 対象4郡内のパイロット以外のコミュニティが水政策・地方局とコミュニケーションの役割について研修を受ける</p>		<p><b>前置条件:</b></p> <p>・関係諸機関がプロジェクトを支援することで合意する。</p>
<p><b>【成果3】村落・フクタンレベルにおける給水施設の日常管理者として給水施設維持管理者の施設維持管理能力を強化する手法が確立する</b></p> <p>3-1 対象24サイトのフクタン長・村長が水政策・地方局・コミュニケーションの役割について研修を受ける</p> <p>3-2 対象24サイトのフクタン長・村長が給水施設維持管理組織・給水施設利用者の役割について研修を受ける</p> <p>3-3 対象24サイトのフクタン長が給水施設維持管理者、水施設利用者の役割を住民総会において啓発し、給水維持管理組織を明確にする</p> <p>3-4 対象レベルIサイトにおいて、施設管理組織の修理人を選定する</p> <p>3-5 対象のレベルIサイトにおいて、選定された修理人が修理研修を受ける</p> <p>3-6 レベルIIサイトにおいて、給水施設維持管理組織のオペレーターが施設のメンテナンスについて研修を受ける。</p> <p>3-7 水管理委員会マニュアルを作成する</p> <p>3-8 対象24サイトの給水施設維持管理組織に対し、維持管理能力研修(①役割分担②内部規定③水料金設定④出納帳管理⑤モニタリング体制)を行う</p> <p>3-9 対象24サイトに対し、地方局職員およびコミュニケーション職員が給水施設維持管理組織研修後のモニタリング・フォローアップを行う</p> <p>3-10 施設維持管理組織がモニタリング・マニュアルに沿ってコミュニティへ定期報告を行う</p>		
<p><b>【成果4】DREN、DRSおよび対象4郡内の行政機関(CISCO、ZAP、公立小学校、SSD、保健センター)による衛生啓発・衛生教育活動が改善される</b></p> <p>4-1 対象地域における衛生設備(便所)整備、衛生行動の状況を把握する</p> <p>4-2 既存の衛生教育・衛生啓発分野に関する教材を確認する</p> <p>4-3 衛生教育現場における課題(教授法、給水の現状)を把握する</p> <p>4-4 DRENによる衛生教育に関する研修プログラムを改善する</p> <p>4-5 改善されたプログラムを使ってDRENが研修を実施する</p> <p>4-6 現場における衛生啓発活動の課題を把握する</p> <p>4-7 DRSの衛生啓発活動に関する研修プログラムを改善する</p> <p>4-8 改善されたプログラムを使ってDRSが研修を実施する</p> <p>4-9 活動の結果を4-4、4-7の研修プログラムに反映させる</p> <p>4-10 4-2および研修結果を踏まえ、各種教材を改善する</p> <p>4-11 対象サイト内の保健センターと小学校において、保健センター職員・ボランティア保健普及員及び小学校教員に集中研修を実施する</p> <p>4-12 対象サイト内小学校に、衛生啓発・衛生教育用の施設(トイレ、簡易手洗い設備)を設置する(原則として既存の施設があるところは除く)</p> <p>4-13 対象コミュニティ内の保健センターと小学校において実施される、4-1を踏まえた衛生啓発活動及び衛生教育をモニタリングする</p> <p>4-14 DREN、DRSが3年次の年間研修計画およびモニタリング計画を策定する。</p>		

	Ver.1	Ver.2
<b>Project Title:</b>	アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理能力と衛生行動改善	アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理能力と衛生行動改善
<b>Target Area:</b>	アッチモ・アンドレファナ県の給水施設設置の4郡13コミュニティ20フクタン	アッチモ・アンドレファナ県4郡において給水施設が設置されている24サイト
<b>Target Group:</b>	G1<給水施設整備関連>エネルギー省アッチモ・アンドレファナ県支局（DIRE）、水管理委員会 G2<衛生・衛生教育関係>教育省アッチモ・アンドレファナ県支局（DIRE）、学区事務所（CISCO）、地区教育事務所（ZAP）、公立小学校、保健省アッチモ・アンドレファナ県支局（DRS）、保健省郡支部（SSD）、保健センター（CSB）、ボランティア保健普及員	G1<給水施設整備関連>治水省アッチモ・アンドレファナ県支局（DRE）、コミュニティ（給水施設管理監督機関）、給水施設管理組織（水管理委員会（CPE）、民間委託、コミュニティ） G2<衛生啓発・衛生教育関係>教育省アッチモ・アンドレファナ県支局（DREN）、学区事務所（CISCO）、地区教育事務所（ZAP）、公立小学校（EPP）、保健省アッチモ・アンドレファナ県支局（DRS）、保健省郡支部（SSD）、保健センター（CSB）、ボランティア保健普及員
<b>Project Period:</b>	2008/4-2010/3	2008/4-2012/3

プロジェクト要約		指標		入手手段		外部条件	
Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2
<b>上位目標:</b> アッチモ・アンドレファナ県において給水施設維持管理能力と衛生行動が改善する。	<b>上位目標:</b> アッチモ・アンドレファナ県で給水施設維持管理体制と衛生啓発普及体制が確立・稼働する。	プロジェクトのゴッドブラクティスが県内の関係諸機関に認識され、プロジェクトサイト以外の地域でも実践されている。	1. アッチモ・アンドレファナ県内の施設稼働数がXX%からYY%に増加する 2. アッチモ・アンドレファナ県において、コミュニティからDREへの報告レポート数がXXになる。	水委員会活動報告書、DIRE・DRS・DRENによる本省への定期報告書	1. コミュニティからの報告書 2. インベントリデータ	「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。中央地方の関係諸機関による水・衛生分野への支援が継続する。	・「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。
<b>プロジェクト目標:</b> 対象地域における給水施設維持管理能力と衛生行動が改善する。	<b>プロジェクト目標:</b> アッチモ・アンドレファナ県の対象4郡において、給水施設維持管理体制の確立と衛生啓発普及体制の活性化がなされる	1. 対象地域の水管理委員会の財政状況が改善する。 2. サイト地域における住民の衛生意識・行動が改善される。	1. (DREの主導により)対象4郡においてパイロットコミュニティ以外のXXコミュニティに対して給水施設維持管理支援を行う。 2. 対象4郡において、コミュニティからDREへの報告レポート提出の割合が0%からXX%になる。 3. 対象4郡において、施設稼働数がXX%からYY%に増加する。 4. DREN,DRSの主導により、対象4郡のx x 学校・保健センターに対して衛生啓発普及・衛生教育にかかる研修が行われる。 5. DRS-SSD-CSBの間で四半期に1回モニタリング結果の報告が行われている。 6. DREN-CISCO-ZAP-EPPの間で半年ごとにモニタリング結果の報告が行われている。	1. 水管理委員会活動報告書 2. 衛生ベースライン調査報告書、活動報告書	1. 水管理委員会活動報告書 2. モニタリング調査 3. ベースライン調査報告書、活動報告書、インパクト調査報告書	「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。中央地方の関係諸機関による水・衛生分野への支援が継続する。	・「マ」国政府の水・衛生政策が大幅に変更されない。 ・中央地方の関係諸機関によるプロジェクトへの支援が継続する。

活動：		指標		入手手段		外部条件	
Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2
1. 対象地域の水管理委員会の給水施設の運営・維持管理能力が向上する。	1.アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理に対する技術支援者として、DRE 職員のコミュニケーション、村落レベルへの維持管理指導及び関係諸機関との調整能力を強化する手法が確立する。	1-1. 水管理マニュアル（組織運営/日常点検整備）が改編される。 1-2. 対象地域の水管理委員会が研修を修了する。	1-1. 2 年次末までに地方局職員（3 人）がコミュニケーション能力の実地試験で合格基準を達成する。 1-2. 2 年次末までに、地方局（DRE）の技術職員（8 人）が、修理技術実地試験に合格する。 1-3. プロジェクト終了時までに、DRE の主導により給水・衛生分野の関係諸機関の定期会合が半年に 1 回行われる。	1. 水管理委員会活動報告書、水管理（組織運営/日常点検整備）マニュアル、プロジェクト報告書	・コミュニケーション研修報告書、研修後アンケート ・修理技術実地試験結果 ・会議議事録、年次活動報告書		
2. エネルギー省支局（DIRE）及び対象地域の水管理委員会技術者の給水修理・更生能力が向上する。	2. 対象コミュニティ内の給水施設所持者としてコミュニティの施設管理・管理委託組織への監督能力を強化する手法が確立する。	2-1. 修理マニュアルが改編される。 2-2. DIRE（3 人）と対象地域の水管理委員会技術者（20 人）が修理技術研修を修了する。 2-3. 修理技術研修を受けた DIRE と対象地域の水管理委員家事技術者が少なくとも 2 給水施設で修理を実施する。 2-4. DIRE 井戸掘削技術者 6 人が井戸更生工事の実習を終了する。 2-5. DIRE が対象地域外の少なくとも 10 水管理委員会技術者に技術指導を行う。	2-1. プロジェクト終了時までに対象 16 コミュニティが、対象 24 サイト以外の少なくとも 3 フクタン/村落に対してコミュニティの役割を説明する。 2-2. 対象 16 コミュニティが、マニュアルを用いて、地域内の施設状況（稼動・維持管理）について地方局へ四半期に 1 回報告を行う。	2. 水管理委員会活動報告書、修理マニュアル、専門家報告書（技術研修・修理）	・サイト研修報告書、研修後アンケート ・コミュニティ用モニタリング報告書	研修や活動の参加者がプロジェクト期間中に大きく変動しない。	La politique d'approvisionnement en eau et d'assainissement du gouvernement malgache ne sera pas largement modifiée.
3. 行政機関（学校・保健センター等）の衛生啓発行政が改善する	3. 村落・フクタンレベルにおける給水施設の日常管理者として給水施設維持管理組織の施設維持管理能力を強化する手法が確立する。	3-1. 教育省支局の研修プログラム（衛生教育関連）が改善される。 3-2. 改善された研修プログラム（衛生啓発関連）を使って少なくとも年 1 回初等教育対象の研修が実施される。 3-3. 保健省支局の研修プログラム（衛生啓発関連）が改善される。 3-4. 改善された研修プログラム（衛生啓発関連）を使っ	3-1. 2 年次末までに対象 24 サイトにおいて施設の操作・日常点検がマニュアルに沿って行われている。 3-2. 2 年次末までに対象 24 サイトの維持管理組織内で出納帳が記録される。 3-3. 2 年次末までに対象 24 サイトの維持管理組織がコミュニティに対して 1 ヶ月に 1 回報告をする。	3. 研修プログラム、研修報告書	・給水施設点検記録、プロジェクトチームによるモニタリング報告書 ・銀行口座預金、組織内金庫預金、会計帳簿 ・給水施設維持管理記録	水管理委員会による新たな活動や既存の規定の変更（料金改定等）が住民に受け入れられる。	

		て少なくとも年1回保健センター職員及びボランティア保健普及員対象の研修が実施される。					
4. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトにおいて、地域住民の衛生概念・行動が改善する	4. DREN、DRS および対象4郡内の行政機関（CISCO、ZAP、公立小学校、SSD、保健センター）による衛生啓発・衛生教育活動が改善される	4-1. サイト地域の少なくとも保健センター職員10人、ボランティア保健普及員10人、公立小学校10項が集中研修を修了する。	4-1. プロジェクト終了時までに改善された研修プログラム（衛生教育・衛生啓発活動）が関係機関に承認される。 4-2. 2年次末までに改善された衛生教育・衛生啓発活動研修プログラムを用いて教育省県支局（DREN）と保健省県支局（DRS）が研修計画を策定する。 4-3. 20箇所以上の小学校で、トレーニングを受けた教員、校長、父兄が衛生教育活動を計画し、定期的実施している。 4-4. 4-3の活動を管轄ZAPがモニタリングし、フォローアップを行う。 4-5. 20箇所以上のCSBで、トレーニングを受けた保健センター職員が保健ボランティア普及員の活動をモニタリングし、フォローアップを行う。	4. 衛生ベースライン調査報告書、活動報告書		・承認ワークショップ議事録 DREN および DRS の定期報告書 ・"小学校の月例活動計画書、 ・ZAPによるモニタリングシート" ・"CSB作成の啓発活動月例報告書 ・保健センター職員によるモニタリングシート"	
5. プロジェクトの成果・教訓が県内と国内で共有される	-	5-1. プロジェクトの成果・教訓取りまとめが関係諸機関に配布される。	-	5. プロジェクトの成果・教訓取りまとめ			
<b>成果：</b>		<b>投入：</b>		<b>投入：</b>		<b>外部条件</b>	
Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2	Ver.1	Ver.2
2-1. エネルギー省県支局（DIRE）と対象地域の水管理委員会技術者の能力を把握する。.	1-1 地方局職員が水政策・地方局の役割について再学習を行う	【日本側】 1. 専門家の派遣 ・ 総括/村落給水 1 (10.3MM) ・ 副総括/機械整備/井戸掘削 (8.7MM) ・ 衛生啓発 (11.5M)	【日本側】 1. 専門家派遣 - 総括 ・ 全活動管理、他ドナー・CP への提言、技術研修・維持管理研修総括 - コーチング担当 ・ 地方局職員へのOJT 担当 - 技術研修担当： ・ 施設改修、井戸改修、改修研修計	【マ国側】・ 1. カウンターパート職員の配置 2. オフィス・スペース、事務所費用 3. マダガスカル側カウンター	【マ国側】 1. カウンターパート ・ 地方局（DRE）局長（1） ・ 地方局（DRE）オペレーション課課長	エネルギー省県支局（DIRE）のカウンターパート職員が変更しない。	・ 地方局（DRE）のカウンターパート職員が変更しない。

		M) ・研修計画/村落給水 2/業務調整  (4.0MM) 2. 機材 3. 衛生施設建設 4. 車両 5. 現地活動費	画立案 維持管理研修担当： ・維持管理研修計画立案 ・研修コーディネート ・現地再委託監理 衛生啓発担当 ・衛生啓発研修計画立案 ・研修コーディネート ・トイレ建設現地再委託監理 業務調整 ・全体調整 ・予算管理  2. 現地費用 ベースライン調査/インパクト調査 現地雇用講師 ・コミュニケーション研修講師 ・水管理委員会研修講師  3. 機材調達 ・事務機器 ・井戸改修用機材	パートに必要な費用	(1) ・地方局 (DRE) 技術職員 (4) ・保健省地方局 (DRS) 職員 ・教育省地方局 (DREN) 職員  2. 施設： ・プロジェクト事務所 ・研修施設 ・調達機材倉庫  3. プロジェクト運営費： ・カウンターパート日当・宿泊費		
2-2. 既存の修理マニュアルを改編する。	1-2 地方局職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について再学習を行う						
2-3. DIRE と対象地域の水管理委員会技術者に対し、技術研修を実施する。	1-3 地方局職員がパイロットコミュニケーションへ、水政策・地方局とコミュニケーションの役割について研修を行う						
2-4. 2-3 に基づき、DIRE と対象地域の水管理委員会技術者が給水施設を修理する。	1-4 地方局職員向けの修理マニュアルを作成する						
2-5. 管路系給水施設（レベル2）、手動式ポンプ付き深井戸（レベル1）のスペアパーツの種類別に流通経路を確認し、必要なスペアパーツを購入する。	1-5 地方局職員に対し、レベルⅠ・Ⅱの改修・操作・点検研修を行う。						
2-6. DIRE の井戸掘削技術者に対し、井戸の更生工事の実習を行う。	1-6 地方局職員が、レベルⅠ・Ⅱの改修・操作・点検に係る実地指導を行う						
2-7. DIRE が対象地域外の水管理委員会技術者に技術指導を行う。	1-7 地方局職員が給水施設管理者→コミュニケーション→地方局という流れの定期報告体制を構築する						
	1-8 地方局職員が定期報告体制・内容を含むモニタリング・マニュアルを作成する						
	1-9 定期報告・サイトモニタリングを通し、地方局 (DRE) が対象 24 サイトの施設状況（稼動・維持管理）についてデータ整理・管理を行う						
	1-10 水・衛生分野の情報を共有することを目的とした DRE、DREN、DRS の定例会議を企画する						
	1-11 水・衛生分野の情報を共有することを目的とした DRE、DREN、DRS の定例会議を開催する						



1-5.1-4の研修を踏まえ、水管理委員会が管理活動（料金改定等）を実施する。	3-5 対象のレベルⅠサイトにおいて、選定された修理人が修理研修を受ける
1-6.水管理委員会が作成する活動報告書等を基にモニタリングを行う。	3-6 レベルⅡサイトにおいて、給水施設維持管理組織のオペレーターが施設のメンテナンスについて研修を受ける。
	3-7 水管理委員会マニュアルを作成する
	3-8 対象24サイトの給水施設維持管理組織に対し、維持管理能力研修（①役割分担②内部規定③水料金設定④出納帳管理⑤モニタリング体制）を行う
	3-9 対象24サイトに対し、地方局職員およびコミュニケーション職員が給水施設維持管理組織研修後のモニタリング・フォローアップを行う
	3-10 施設維持管理組織がモニタリング・マニュアルに沿ってコミュニケーションへ定期報告を行う
3-1.対象地域における衛生設備（便所）整備、衛生行動の状況を把握する。	4-1 対象地域における衛生設備（便所）整備、衛生行動の状況を把握する
3-2.教育省県支局（DREN）の衛生教育分野に関する教材を確認する。	4-2 既存の衛生教育・衛生啓発分野に関する教材を確認する
3-3.衛生教育現場における課題（教授法、給水の現状）を抽出する。	4-3 衛生教育現場における課題（教授法、給水の現状）を把握する
3-4. DREN (SEG)の研修プログラムを改善する。	4-4 DREN による衛生教育に関する研修プログラムを改善する
3-5.改善されたプログラムを使って DREN (SEG)が研修を実施する。	4-5 改善されたプログラムを使って DREN が研修を実施する
3-6.保健省県支局（DRS）の既存の衛生啓発活動及び使用教材を評価する。	4-6 現場における衛生啓発活動の課題を把握する
3-7.3-6を踏まえ、現場における衛生啓発活動の課題を抽出する。	4-7 DRS の衛生啓発活動に関する研修プログラムを改善する
3-8. DRS の研修プログラムを改善する。	4-8 改善されたプログラムを使って DRS が研修を実施する

--

--

--

--

--



3-9. 改善されたプログラムを使って DRS が研修を実施する。	4-9 活動の結果を 4-4、4-7 の研修プログラムに反映させる			
4-1. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトの保健センター職員・ボランティア保健普及員及び小学校教員に集中研修を実施する。	4-10 4-2 および研修結果を踏まえ、各種教材を改善する			
4-2. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトに、衛生啓発・衛生教育用の衛生施設（トイレ、簡易手洗い設備）を設置する（既存の施設があるところは除く）。	4-11 対象サイト内の保健センターと小学校において、保健センター職員・ボランティア保健普及員及び小学校教員に集中研修を実施する			
4-3. 対象地域内の保健センターと小学校の両機関が所在するサイトにおいて、4-1 を踏まえた衛生啓発活動及び衛生教育を実施する。	4-12 対象サイト内小学校に、衛生啓発・衛生教育用の施設（トイレ、簡易手洗い設備）を設置する（原則として既存の施設があるところは除く）			
4-4. 活動の結果を 3-4、3-8 の研修プログラムに反映させる。	4-13 対象コミュニティ内の保健センターと小学校において実施される、4-1 を踏まえた衛生啓発活動及び衛生教育をモニタリングする			
5-1. 県内の関係諸機関を集めてセミナーを開催し、プロジェクトの進捗と成果を発表する。				
5-2. 県開発審議会においてプロジェクトの進捗と成果を発表する。				

成果毎の活動

2010年9月R/D承認(※JCC承認版はPDM ver.2 2010. 4)	PDM ver. 3用活動(2011月7月マ国協議前)	PDM ver. 3用活動(2011月8月合意)
<b>【成果1】アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理に対する技術支援者として、DRE職員のコミュニケーション、村落レベルへの維持管理指導及び関係諸機関との調整能力を強化する手法が確立する。</b>		
1-1 地方局職員が水政策・地方局の役割について再学習を行う	1-1 DRE職員が水政策・DREの役割について再学習を行う	1-1 DRE職員が水政策・DREの役割について再学習を行う
1-2 地方局職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について再学習を行う	1-2 DRE職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について再学習を行う	1-2 DRE職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について再学習を行う
1-3 地方局職員がパイロットコミュニティへ、水政策・地方局とコミュニケーションの役割について研修を行う	1-3 DRE職員がパイロットコミュニティへ、水政策・DREとコミュニケーションの役割について研修を行う	1-3 DRE職員がパイロットコミュニティへ、水政策・DREとコミュニケーションの役割について研修を行う
1-4 地方局職員向けの修理マニュアルを作成する	1-4 DRE職員および地域修理人向けの修理マニュアルをDRE職員と共同で作成・編集する	1-4 地域修理人向けの修理マニュアルをDRE職員と専門家が共同で作成する
1-5 地方局職員に対し、レベルIIの改修・操作・点検研修を行う。	1-5 DRE職員に対し、レベルIIの改修・操作・点検研修を行う。	1-5 DRE職員に対し、レベルIIの改修・操作・点検研修を行う。
1-6 地方局職員が、レベルIIの改修・操作・点検に係る実地指導を行う	1-6 DRE職員が、地域修理人に対し、レベルIIの改修・操作・点検に係る実地指導を行う	1-6 DRE職員と専門家が、地域修理人に対し、レベルIIの改修・操作・点検に係る実地指導を行う
	1-7 DRE職員が、地域修理人を登録し、修理サービスの標準価格を設定する。	1-7 DRE職員と専門家が地域修理人と協議し修理サービス料金設定のための計算式を設定する。
	1-8 DRE職員が、修理に関するアクターの整理とアクター間のネットワーク構築の支援をする。	1-8 DRE職員と専門家が、修理に関するアクターの整理とアクター間のネットワーク構築の支援をする。
1-7 地方局職員が給水施設管理者→コミュニティ→地方局という流れの定期報告体制を構築する	1-9 DRE職員が給水施設管理者・コミュニティ(モニタリング委託組織)・DRE・治水省(中央)間の定期報告・モニタリング体制を構築する	1-9 DRE職員が給水施設管理者・コミュニティ・DRE・治水省(中央)間の定期報告・モニタリング体制を構築する
1-8 地方局職員が定期報告体制・内容を含むモニタリング・マニュアルを作成する	1-10 DRE職員が、全維持管理アクター向けのマニュアルに含める定期報告・モニタリングの方法、手続きなどを検討し、取り纏める	1-10 DRE職員と専門家が、全維持管理アクター向けのマニュアルに含めるモニタリングフォームを作成する
1-9 定期報告・サイトモニタリングを通し、地方局(DRE)が対象24サイトの施設状況(稼働・維持管理)についてデータ整理・管理を行う	1-11 定期報告・サイトモニタリングを通し、DREが対象24サイトの施設状況(稼働・維持管理)についてデータ整理・管理を行う	1-11 定期報告・サイトモニタリングを通し、DREが対象24サイトの施設状況(稼働・維持管理)についてデータ整理・管理確認を行う
	1-12 DRE職員がデータ更新体制に沿って、治水省(中央)へ収集データの報告を行う	1-12 DRE職員がデータ更新体制に沿って、治水省(中央)へ収集データの報告を行う
1-10 水・衛生分野の情報を共有することを目的としたDRE、DREN、DRSの定例会議を企画する	1-13 DRE職員が首都において他県DRE、他ドナーに対し、試行したデータ更新体制を共有する	1-13 DRE職員が首都において他県DRE、他ドナーに対し、試行したデータ更新体制を共有する
1-11 水・衛生分野の情報を共有することを目的としたDRE、DREN、DRSの定例会議を開催する	1-14 DRE職員の主導で、「維持管理体制」の試行結果を含む水・衛生分野の情報をDRE、DREN、DRS間で共有することを目的とした定例会議を開催する	1-14 DRE職員の主導で、「維持管理体制」の試行結果を含む水・衛生分野の情報をDRE、DREN、DRS間で共有することを目的とした定例会議を開催する
	1-15 DRE職員の主導で、「維持管理体制」の試行結果を含む水・衛生分野の情報をDRE、DREN、DRS間で共有することを目的とした定例会議を開催する	1-15 DRE職員の主導で、「維持管理体制」の試行結果を含む水・衛生分野の情報をDRE、DREN、DRS間で共有することを目的とした定例会議を開催する
1-12 地方局職員が対象4郡内のパイロット外コミュニティにおいて水政策・地方局とコミュニティの役割について研修を企画・実施する	1-16 DRE職員が対象4郡内のパイロット外コミュニティにおいて水政策・DREとコミュニティの役割について研修を企画・実施する	1-16 DRE職員と専門家が対象4郡内のパイロット外コミュニティにおいて水政策・DREとコミュニティの役割について研修を企画・実施する
1-13 県レベルでセミナーを開催し、対象外5郡に対して、4郡での維持管理事例を紹介する。	1-17 県レベルでセミナーを開催し、対象外5郡に対して、4郡での維持管理事例を紹介する。	1-17 DRE職員と専門家が県レベルでセミナーを開催し、対象外5郡に対して、4郡での維持管理事例を紹介する。
1-14 地方局職員が給水施設維持管理に係る各種業者入札におけるDREの役割について、再学習を行う。	1-18 DRE職員が給水施設維持管理に係る各種業者入札におけるDREの役割について、再学習を行う。	1-18 DRE職員が給水・衛生分野に係る各種業者入札におけるDREの役割について、コミュニティへの技術移転を目的として再学習を行う。
1-15 水・衛生セクターの関連諸機関と会合を中央レベルで開催し、プロジェクトの成果を共有する	1-19 水・衛生セクターの関連諸機関と会合を中央レベルで開催し、プロジェクトの成果を共有する	1-19 水・衛生セクターの関連諸機関と会合を中央レベルで開催し、プロジェクトの成果を共有する
1-16 地方局職員が対象24サイトにおいて、給水施設維持管理組織の研修後モニタリング・フォローアップを行う	1-20 DRE職員が、コミュニティ給水担当者またはモニタリング委託組織が実施する24パイロットサイトの運営状況のモニタリングに対し、指導を行う	1-20 DRE職員と専門家が、コミュニティ給水担当者が実施する24パイロットサイトの運営状況のモニタリングに対し、指導を行う
	1-21 DRE職員が、コミュニティの水税徴収状況の確認と、運用に関する監査を行う	
	1-22 スベアパーツ供給体制の構築のための情報収集、アクターへの説明、マニュアル作成・ネットワーク作りをDRE職員と協働して行う	1-21 スベアパーツ供給体制の構築のための情報収集、アクターへの説明、マニュアル作成・ネットワーク作りをDRE職員と協働して行う
	1-23 DRE用マニュアルを作成し、取りまとめる。	1-22 DRE用マニュアルを作成し、取りまとめる。
		1-23 DRE職員がコミュニティの定期報告受領後にCPEの活動のモニタリング/指導を行う。
		1-24 DRE職員が、施工代理としての役割について、再学習をする。

<b>【成果2】コミュニティが将来給水施設の施主としての役割を果たすための能力強化の手法が確立する。</b>		
2-1 パイロット16コミュニティ職員が水政策・地方局の役割について研修を受ける	2-1 パイロット15コミュニティ職員が水政策・地方局の役割について研修を受ける	2-1 パイロット15コミュニティ職員が水政策・地方局の役割について研修を受ける
2-2 パイロット16コミュニティ職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について研修を受ける	2-2 パイロット15コミュニティ職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について研修を受ける	2-2 パイロット15コミュニティ職員が給水施設維持管理に関わるコミュニケーションの役割について研修を受ける
2-3 パイロット16コミュニティ内において、給水施設担当者もしくは担当委員会を設置する	2-3 パイロット15コミュニティ内において、給水担当者もしくは担当委員会を設置する	2-3 パイロット15コミュニティ内において、給水担当者を設置する
2-4 パイロット16コミュニティがコミュニティ内施設の維持管理委託組織を明確にし、各委託者と契約を交わす	2-4 パイロット15コミュニティがコミュニティ内施設の運営維持管理委託組織を明確にし、各委託者と契約を交わす	2-4 パイロット15コミュニティがコミュニティ内施設の運営維持管理委託組織を明確にする
	2-5 パイロット15コミュニティが、給水施設と水管理組織の指導・モニタリング・フォローアップを、民間を含む第三者へ委託するかどうかを選択する	
2-5 パイロット16コミュニティ職員が対象24サイトにおいて、給水施設維持管理組織の研修後モニタリング・フォローアップを行う	2-6 コミュニティ給水担当者/モニタリング委託組織が対象24サイトにおいて、水管理組織の研修後、モニタリング・フォローアップを行う。	2-5 コミュニティ給水担当者が対象24サイトにおいて、水管理組織の研修後、モニタリングを行う
2-5 パイロット16コミュニティがモニタリング・マニュアルに沿って、DREへの定期報告を行う	2-7 パイロット15コミュニティがコミュニティ用マニュアルに沿って、DREへの定期報告を行う	2-6 パイロット15コミュニティがコミュニティ用マニュアルに沿って、DREへの定期報告を行う
2-6 コミュニティとDREの協働により、4郡のコミュニティ内の施設データを整理する	2-8 コミュニティとDREの協働により、4郡のコミュニティ内の施設データを整理する	2-7 コミュニティとDREの協働により、4郡のコミュニティ内の施設データを整理する
2-7 パイロット16コミュニティが村落レベルで対応できない施設の改修・更新に係るコミュニケーションの役割・手続きについて研修を受ける。	2-9 パイロット15コミュニティが、施設の改修・更新または運営維持管理・モニタリングを民間に委託する場合のコミュニティの役割・手続きについて研修を受ける。	2-8 パイロット15コミュニティが、施設の改修・更新または運営維持管理を民間に委託する場合のコミュニティの役割・手続きについて研修を受ける
2-8 民間委託実施パイロットコミュニティが、民間委託管理の手続きについて研修を受ける。	2-10 民間委託実施パイロットコミュニティが、民間委託管理の手続きについて研修を受け、民間委託に係る手続きを行う	2-9 民間委託実施パイロットコミュニティが、民間委託管理の手続きについて研修を受け、パイロットコミュニティが開札・評価に参加する
2-9 パイロット16コミュニティに対し、給水施設維持管理に水税の徴収と支出の管理を指導する。	2-11 パイロット15コミュニティに対し、給水施設維持管理における水税の徴収と支出の管理を指導する	2-10 パイロット15コミュニティに対し、給水施設維持管理における水税の徴収と支出の管理を指導する
2-10 対象4郡内のパイロット以外のコミュニティが水政策・地方局とコミュニティの役割について研修を受ける	2-12 対象4郡内のパイロット以外のコミュニティが水政策・DREとコミュニティの役割について研修を受ける	2-11 対象4郡内のパイロット以外のコミュニティが水政策・DREとコミュニティの役割について研修を受ける
	2-13 コミュニティ給水担当者またはモニタリング委託組織が、実施する水管理組織研修のTOT研修を受ける	
	2-14 DREと共同でコミュニティマニュアルとモニタリング委託組織マニュアルを作成し、それぞれ取りまとめる	2-12 DREと専門家の協働でコミュニティマニュアルを作成する

<b>【成果3】村落・フタクンレベルにおける給水施設の日常管理者として給水施設維持管理組織の施設維持管理能力を強化する手法が確立する。</b>		
3-1 対象24サイトのフタクン長・村長が水政策・地方局・コミュニティの役割について研修を受ける	3-1 対象24サイトのフタクン長・村長が水政策・地方局・コミュニティの役割について研修を受ける	3-1 対象24サイトのフタクン長・村長が水政策・地方局・コミュニティの役割についてDREおよび専門家から研修を受ける
3-2 対象24サイトのフタクン長・村長が給水施設維持管理組織・給水施設利用者の役割について研修を受ける	3-2 対象24サイトのフタクン長・村長が給水施設維持管理組織・給水施設利用者の役割について研修を受ける	3-2 対象24サイトのフタクン長・村長が給水施設維持管理組織・給水施設利用者の役割について研修を受ける
3-3 対象24サイトのフタクン長が給水施設維持管理者、水施設利用者の役割を住民総会において啓発し、給水維持管理組織を明確にする	3-3 対象24サイトのフタクン長が給水施設維持管理者、水施設利用者の役割を住民総会において啓発し、給水維持管理組織を明確にする	3-3 対象24サイトのフタクン長が給水施設維持管理者、水施設利用者の役割を住民総会において啓発し、給水維持管理組織を明確にする
3-4 対象レベル1サイトにおいて、施設管理組織の修理人を選定する	3-4 対象レベル1サイトにおいて、ハンドポンプ村落修理工を選定する	3-4 対象レベル1サイトにおいて、ハンドポンプ村落修理工を選定する
3-5 対象のレベル1サイトにおいて、選定された修理人が修理研修を受ける	3-5 対象のレベル1サイトにおいて、選定されたハンドポンプ村落修理工が修理研修を受ける	3-5 対象のレベル1サイトにおいて、選定されたハンドポンプ村落修理工がDREおよび専門家同様の地域修理人により修理研修を受ける
3-6 レベルIIサイトにおいて、給水施設維持管理組織のオペレーターが施設のメンテナンスについて研修を受ける。	3-6 レベルIIサイトにおいて、選定された施設操作員が施設のメンテナンスについて研修を受ける。	3-6 レベルIIサイトにおいて、選定された施設操作員が施設のメンテナンスについてDREおよび専門家同様の地域修理人により研修を受ける
3-7 水管理委員会マニュアルを作成する	3-7 水管理組織マニュアルを作成、編集する	3-7 水管理組織マニュアルを作成する
3-8 対象24サイトの給水施設維持管理組織に対し、維持管理能力研修(①役割分担②内部規定③水料金設定④出納帳管理⑤モニタリング体制)を行う	3-8 対象24サイトの給水施設維持管理組織に対し、維持管理能力研修(①役割分担②内部規定③水料金設定④出納帳管理⑤モニタリング体制)を行う	3-8 DREおよび専門家が対象24サイトの給水施設維持管理組織に対し、維持管理能力研修(①役割分担②内部規定③水料金設定④出納帳管理⑤モニタリング体制)を行う
3-9 対象24サイトに対し、地方局職員およびコミュニティ職員が給水施設維持管理組織研修後のモニタリング・フォローアップを行う	3-9 対象24サイトに対し、DRE職員の下、コミュニティ職員/モニタリング委託組織が水管理組織研修後のモニタリング・フォローアップを行う	3-9 対象24サイトに対し、DRE職員の下、コミュニティ職員が水管理組織研修後のモニタリングを行う
3-10 施設維持管理組織がモニタリング・マニュアルに沿ってコミュニティへ定期報告を行う	3-10 水管理組織が水管理組織マニュアルに沿ってコミュニティ給水担当者またはモニタリング委託組織へ定期報告を行う	


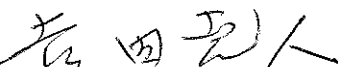
**PROCES-VERBAL DE DISCUSSIONS**  
**ENTRE**  
**L'AGENCE JAPONAISE DE COOPERATION INTERNATIONALE (JICA)**  
**ET**  
**LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT**  
**DE LA REPUBLIQUE DE MADAGASCAR**  
**SUR**  
**LE RAPPORT DE COMMENCEMENT**  
**POUR LE PROJET D'AMELIORATION DE LA GESTION DES SYSTEMES**  
**D'APPROVISIONNEMENT EN EAU POTABLE ET DES COMPORTEMENTS EN**  
**MATIERE D'HYGIENE DANS LA REGION ATSIMO-ANDREFANA,**  
**MADAGASCAR**

Antananarivo, le 17 Octobre 2008

---

Madame Berthine RAZAIARIMANANA  
Directeur de Cabinet  
Ministère de l'Eau  
République de Madagascar

Témoignés par :

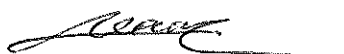
  


---

Docteur Katsuhito YOSHIDA  
Chef de Mission de Consultation  
Agence Japonaise de Coopération Internationale

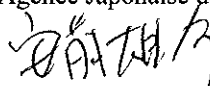
---

Monsieur Victor MAFILAZA  
Coordonateur National Adjoint de la Campagne  
d'Education Sanitaire  
Ministère de la Santé et du Planning Familial



---

Monsieur Yusuke ANDO  
Chef de l'équipe du Projet  
Agence Japonaise de Coopération Internationale



---

Monsieur Solofohery RAJEMISON  
Coordonateur National de l'Alimentation et  
Nutrition Scolaire  
Ministère de l'Education Nationale



---

Madame Victorine Edson ANJARASOA  
Coordonatrice Régionale de Diorano-WASH  
d'Atsimo-Andrefana



Conformément au Procès-verbal de discussion (désigné ci-après « R/D ») signé le 08 Juillet 2008 entre l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désigné ci-après « JICA ») et les autorités concernées du Gouvernement de la République de Madagascar, relative au « Projet d'Amélioration de la Gestion des Systèmes d'Approvisionnement en Eau Potable et des Comportements en matière d'Hygiène dans la Région d'Atsimo-Andrefana de la République de Madagascar » (désigné ci-après « Projet »), le gouvernement du Japon, par le biais de la JICA, a envoyé l'équipe d'experts japonais du Projet menée par Monsieur Yusuke ANDO à Madagascar du 21 Septembre 2008. Le siège de la JICA aussi a envoyé une mission de consultation menée par Docteur Katsuhito YOSHIDA aussi pour le démarrage du Projet.

Le 14 Octobre 2008, l'équipe du Projet a tenu une réunion du Groupe de Travail du Projet (désigné ci-après « GTP ») à la grande salle de la Direction Régionale de l'Education Nationale à Toliara. A cette occasion, les contenus des activités du Projet ont été présentés et discutés sur la base du Rapport de Commencement du Projet (Annexe 1).

Après ce Groupe de Travail du Projet, l'équipe du Projet a soumis le Rapport de Commencement au Ministère de l'Eau, et les contenus dudit rapport ont été discutés lors de la réunion du Comité Conjoint de Coordination (désigné ci-après « JCC ») présidé par Monsieur Jean Donné RASOLOFONIAINA, Ministre de l'Eau, tenu le 16 Octobre 2008 à la salle de conférence de l'Hôtel PANORAMA, Antananarivo.

Les sujets mentionnés ci-dessous ont été discutés et convenus entre les autorités concernées du Gouvernement de la République de Madagascar et l'équipe du Projet.

#### 1. Principales remarques et observations sur le Rapport de Commencement

- Le Ministère de l'Eau a précisé que la coordination du projet entre les ministères concernés se fait à son niveau. Le rôle de WASH dans le cadre de la mise en œuvre du projet sera défini ultérieurement ;
- Le projet souhaite que le Ministère de l'Eau profite des expériences acquises pour appuyer d'autres régions (Exemple : vulgarisation du manuel de gestion des points d'eau etc.) ;
- Les critères de sélection des sites pour la mise en place des latrines seront définis à partir des résultats de l'étude de base et des enquêtes effectuées auprès de la population locale ;

#### 2. Approbation du Rapport de Commencement

Le Comité Conjoint de Coordination (JCC) (Liste en Annexe 4) a confirmé que le contenu du Rapport de Commencement a été préparé sur la base des conditions stipulées dans le Procès-verbal de discussion signé le 08 juillet 2008 et a approuvé ledit Rapport.

### 3. Confirmation des Homologues

Suite à la réorganisation au niveau du Ministère de l'Eau, les homologues du projet ont été modifiés. La liste des homologues malagasy est décrite en Annexe 3.

### 4. Fourniture et Réparation des Matériels et équipements

La machine de forage et autres équipements nécessaires seront envoyés à Toliara d'ici fin d'année 2008 par la partie Malagasy.

### 5. Carburant nécessaire pour les activités des homologues Malagasy

La partie Malagasy s'efforcera de prendre en charge le carburant nécessaire pour les activités des homologues Malagasy.

3 RD 27 7/12  
L

**Annexe 1 : Liste des participants de la Réunion  
du Groupe de Travail du Projet (GTP)**

**La Partie Malagasy**

Organisme	Nom et Prénom	Fonction
Direction Inter-Régionale de l'Eau (DIRE)	Justin RANDRIANARISON	Directeur, Chef du Projet
	Jux Solinski KOTOVAORIVELO	Chef de Service de l'Eau et de l'Assainissement
	Gilbert RANDRIANASY	TECHNICIEN
	Robelle RAKOTOARISON	FOREUR
Direction Régionale de l'Education Nationale (DREN)	Parelson KOTOVAO	
	Sitory BENOIT	
	Dida JEANNOT	
	Ruben RASOLOMANANA	
	Paulbert AUGUSTIN	
Direction Régionale de la Santé et des Affaires Sociales (DRSAS)	KOTOVAO	SMAGS
	FOSY	SMAGS
WASH	Victorine ANJARASOA	
COMMUNE URBAINE TOLIARA	REJO ODETTE	ADJOINT AU MAIRE
ONG FIHAMINDRAZA	Laurette Juitin H.	
ONG TARATRA	TPVANDRAINY F. Jean Paul	
ONG VSDA	RAZAFINDRAVELO Germond R.	
ONG FANTIOLOTSE	VALAHOAVY Peterson	
ONG VANONA	HADJEE Jacky Zilly	
ONG KANIA	RATIARISON Jean Brand	
Direction Régionale de Développement Rural (DRDR)	RAVAOMANANTENASOA Ranjavelo	

**La Partie Japonaise**

Organisme	Nom et Prénom	Fonction
Agence Japonaise de Coopération Internationale (JICA)	Docteur Katsuhito YOSHIDA	Chef de la mission de consultation du projet
	Hiroyuki SATO	Membre de la mission de consultation du projet
	Mami KUSHIDA	Adjointe au Représentant Résident, JICA à Madagascar
	Manoela RAZAFIMAHEFA	Conseiller Technique, JICA à Madagascar
Equipe du Projet	Yusuke ANDO	Chef de l'équipe
	Tadao SUZUMURA	Chargé la maintenance et l'entretien
	Takeshi ONO	Chargé l'hygiène et l'assainissement

3      *[Signature]*      *[Signature]*      *[Signature]*



## Annexe 2 : Liste des participants de la Réunion du Comité Conjoint de Coordination (JCC)

### Partie Malagasy

Monsieur Jean Donn� RASOLOFONIAINA	Ministre de l'Eau
Madame Berthine RAZAIARIMANANA	Directeur de Cabinet, Minist�re de l'Eau
Monsieur Alain RANDRIAMAHERISOA	Directeur G�n�ral, Minist�re de l'Eau
Monsieur Justin RANDRIANARISON	Directeur Inter-R�gional, Minist�re de l'Eau
Madame Ranja RAZAFIMAHEFA	Conseill�re technique, Minist�re de l'Eau
Madame Jos�phine Ang�le RAVELOJAONA	Directeur des Op�rations du Minist�re de l'Eau
Madame Corine GOULAM	Responsable de Communication, Minist�re de l'Eau
Monsieur Davi RAKOTONARIVO	Chef de service Partenariat, Minist�re de l'Eau
Monsieur Germain RANDRIAMIANDRA	Charg� d'�tude, Minist�re de l'Education Nationale
Monsieur Solofohery RAJEMISON	Chef de Service de Suivi-Evaluation, Minist�re de l'Education Nationale
Monsieur Stephen RASOLOFONIAINA	Charg� d'�tude et Responsable de Diorano-WASH, Minist�re de l'Education Nationale
Monsieur Victor MAFILAZA	Coordinateur Adjoint de Diorano-WASH, Minist�re de la Sant� et du Planning Familial
Madame Victorine Edson ANJARASOA	Coordinatrice R�gionale de Diorano-WASH d'Atsimo-Andrefana

### Partie Japonaise

Monsieur Toru TOGAWA	Repr�sentant R�sident, JICA � Madagascar
Docteur Katsuhito YOSHIDA	Chef de Mission de Consultation, JICA
Monsieur Hiroyuki SATO	Membre de Mission de Consultation, JICA
Madame Mami KUSHIDA	Adjointe au Repr�sentant R�sident, JICA � Madagascar
Madame Manoela RAZAFIMAHEFA	Conseiller Technique, JICA � Madagascar
Monsieur Yusuke ANDO	Chef de l'�quipe du Projet
Monsieur Takeshi ONO	Membre de l'�quipe du Projet

3 2 17 2 Rn  
Rn



### Annexe 3 : Liste des homologues Malagasy du Projet

#### 1. Personnels homologues du Projet

##### 1) Directeur du Projet :

Monsieur Alain RANDRIAMAHERISOA                      Directeur Général, Ministère de l'Eau

##### 2) Directeur Adjoint du Projet :

Madame Joséphine Angèle RAVELOJAONA                      Directeur des Opérations, Ministère de l'Eau

##### 3) Chef du Projet :

Monsieur Justin RANDRIANARISON                      Directeur de la Direction Inter-Régionale de l'Eau,  
Toliara

#### « Homologues »

4) Monsieur Jux Solinski KOTOVAORIVELO                      Chef de Service de l'Eau et de l'Energie de la  
Direction Inter-Régionale de l'Eau, Toliara

##### 5) Techniciens de la DIRE-ME :

Monsieur Gilbert RANDRIANASY                      Electricien / Mécanicien

Monsieur Robelle RAKOTOARISON                      Maître foreur

Monsieur RALAY Jean Vincenlas                      Aide sondeur

##### 6) Personnel d'appui :

Monsieur RAMAROZATOVO Christian                      Secrétaire Comptable

Monsieur RAZAFIMANDIMBY Paul                      Agent de liaison

Monsieur MBAHINISOA                      Chauffeur

Monsieur TAHIMANA Edmond                      Gardien

#### « Homologues associés du Projet »

1) Direction Régionale de l'Education Nationale (DREN)

2) Direction Régionale de la Santé et des Affaires Sociales (DRSAS)

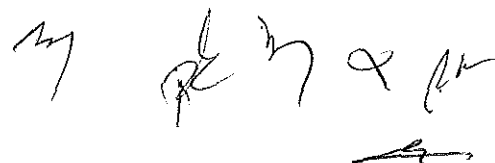
## **Annexe 4 : Liste des Membres du Comité Conjoint de Coordination (JCC)**

### La Partie Malagasy

- Le Directeur de Cabinet du Ministère de l'Eau
- Le Chef de Service de Partenariat du Ministère de l'Eau
- Le Secrétaire Général ou le Directeur Général du Ministère chargé de l'Education Nationale
- Le Secrétaire Général ou le Directeur Général du Ministère chargé de la Santé

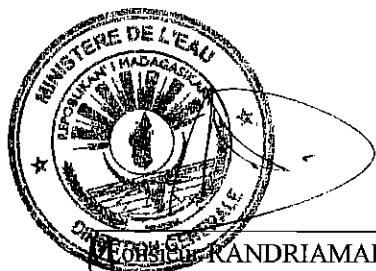
### La Partie Japonaise

- L'Expert du Projet
- Le Représentant Résidant de la JICA à Madagascar
- l'Ambassade du Japon à Madagascar (Observateur)



**PROCES-VERBAL DE DISCUSSIONS**  
**ENTRE**  
**L'AGENCE JAPONAISE DE COOPERATION INTERNATIONALE (JICA)**  
**ET**  
**LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT**  
**DE LA REPUBLIQUE DE MADAGASCAR**  
**SUR**  
**LE PLAN D'EXECUTION DES ACTIVITES**  
**POUR LE PROJET D'AMELIORATION DE LA GESTION DES SYSTEMES**  
**D'APPROVISIONNEMENT EN EAU POTABLE ET DES COMPORTEMENTS EN**  
**MATIERE D'HYGIENE DANS LA REGION ATSIMO-ANDREFANA,**  
**MADAGASCAR**

Antananarivo, le 18 Novembre 2009



\_\_\_\_\_  
Monsieur RANDRIAMAHERISOA Alain  
Directeur general  
Ministère de l'Eau  
République de Madagascar

\_\_\_\_\_  
Monsieur Yusuke ANDO  
Chef de l'équipe du Projet  
Agence Japonaise de Coopération Internationale

Témoignés par :

\_\_\_\_\_  
Monsieur Yosuke SASAKI  
Chef de Mission de Consultation  
Agence Japonaise de Coopération Internationale

\_\_\_\_\_  
Madame RASAHONDRAMANITRINIAINA  
Marie Madeleine  
Chargée d'Etude Santé Scolaire  
Ministère de l'Education Nationale

\_\_\_\_\_  
Monsieur MAFILAZA Victor  
Coordonnateur Adjoint de Diorano WASH et  
Responsable Suivi Evaluation  
Ministère de la Santé et du Planning Familial

Conformément au procès-verbal de discussion (désigné ci-après « R/D ») signé le 08 juillet 2008 ainsi qu'au procès-verbal révisé signé le 08 octobre 2009 entre l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désigné ci-après « JICA ») et les autorités concernées du Gouvernement de la République de Madagascar, relatifs au « Projet d'Amélioration de la Gestion des Systèmes d'Approvisionnement en Eau Potable et des Comportements en matière d'Hygiène dans la Région d'Atsimo Andrefana de la République de Madagascar » (désigné ci-après « Projet »), le gouvernement du Japon, par le biais de la JICA a envoyé à Madagascar l'équipe d'experts Japonais du Projet mené par Monsieur Yusuke ANDO le 7 novembre 2009. Le siège de la JICA a également envoyé une mission de consultation menée par Docteur Yousuke SASAKI pour le redémarrage du projet.

Le 17 novembre 2009, l'équipe du Projet a tenu une réunion du Comité Conjoint de Coordination du Projet (désigné ci-après « JCC ») présidé par Monsieur Alain RANDRIAMAHERISOA, Directeur Général du Ministère de l'Eau, à la salle de réunion de l'Hôtel PANORAMA, Antananarivo. A cette occasion, les contenus des activités du Projet ont été présentés et discutés sur la base du Plan d'Exécution du Projet.

### **1. Approbation des activités concernant le secteur hygiène et assainissement**

Les activités qui sont décrites dans le plan d'exécution sont approuvées au présent JCC et seront exécutées en conséquence.

### **2. Modification des orientations et des activités concernant la gestion et maintenance d'approvisionnement en eau potable**

Les orientations et les activités qui sont décrites dans le plan d'exécution ne sont pas conformes aux politiques sectorielles, aux stratégies et au Code de l'Eau Malagasy et ses Décrets d'application. Par conséquent, la partie japonaise et la partie malagasy vont modifier ensemble le programme des activités après évaluation de la situation. Le plan d'exécution révisé sera approuvé lors de la prochaine réunion du JCC.

### **3. Approbation de Plan d'Opération (PO)**

Plan d'opération dans l'annexe 2 est approuvé lors du présent JCC.

### **4. Confirmation des Homologues et leur prise en charge**

Suite à la réorganisation au niveau des Ministères, les homologues du projet ont été modifiés.

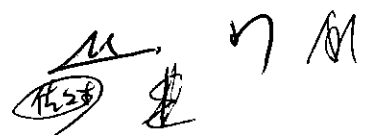
Toutefois, les frais nécessaires aux activités de ces homologues dans le cadre du présent projet sont à la charge de leur ministère d'affiliation.

### **5. Modification des documents du projet**

Les PDM et PO attachés en annexe de R/D ont été tacitement approuvés avec la signature du R/D. Mais désormais, toute modification de ces documents sera exécutée et approuvée à la réunion du JCC et sera signée dans le PV dudit JCC.

**Annexe 1 : Liste de participants de la réunion du JCC**

**Annexe 2 : Plan d'Opération**




## Annexe 1 : Liste de participants de la réunion du JCC

### Liste des participants de JCC

Date : 17/11/2009

Lieu : Hotel Panorama

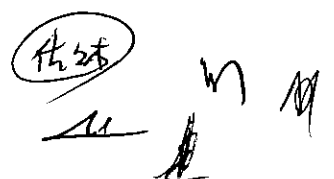
Nom et prénom (Lettre en bloc)	Fonction	Numéro de téléphone	Adresse e-mail
Yusuke ANDO	JICA Expert	0330538106	Yando@jat.co.jp
Maki YOSHIDA	JICA HQ		Yoshida.Maki@jica.go.jp
Shizuka ONISHI	Adjointe au Représentant résident, chargé du projet	0331525339	Onishi.Shizuka@jica.go.jp
Aymépillot René MANARINJARA	Conseiller Technique JICA Madagascar	0332333426	ManarinjaraAymépillotRené.MR @jica.go.jp
Tadao SUZUMURA	JICA Expert	0330538108	suzumura@blue.ocn.ne.jp
Kimiyo KIKUCHI	JICA Expert	0330399706	Kikuchi-kimiyo@abox3.so-net.ne .jp
Kazuchiyo KUSUDA	JICA Expert	0327579978	kusuda.kazuchiyo@ehcjp.com
Lucky LOWE	Water aid	22 627 72	luckylowe@wateraid.com
Hitomi YAMAZAKI	JICA Expert	0330538107	hyamazaki@jat.co.jp
ANDRIATAHINA Tiana	Service communication Min Eau	0340123212	scom@mineau.gov.mg
ANDRIANAIVORA VELO Hervé Serge	Service Suivi évaluation Min Eau	0330703003	Rva.ravelo@yahoo.fr
ROBINIRINA Aubert	DAGRE	0340750805	auberdrob@yahoo.fr
RANDIAMAHERIS OA Alain	DG Min Eau	0330533937 0340750809	Alainjoelinia@yafoo.fr
Yosuke SASAKI	Leader of JICA Mission		Sasaki.yosuke@jica.go.jp
Atsushi ASANO	Premier Directeur Adjoint JICA	0330728607	Asano.atsushi@jica.go.jp
RAKOTONIAINA	Administrateur Adjoint UNICEF	0332342644	nrakotoniaina@unicef.org
RA MADISON Joseph	Chef de Service de développement de partenariat du Min Education Nationale	0340892278	
MAFILAZA Victor	Responsable Suivi évaluation Min santé	0341981140	Mafilaza57@yahoo.fr
RAMANITRARIVO Onisoa	Responsable des bases de données Min Santé	0320215483	minsansags@yahoo.fr
ANJARASOA Victorine Edson	Coordinatrice régionale WASH Atsimo Andrefana	0330441418	anjarasoatamafa@yahoo.fr
RAZAFIMANDIMB Y Juleson Paul	Chef de Service DR Min Eau	0331201240	julsonpaul@yahoo.fr
KOTOVAOARIVEL O Juxes Solinski	DR Min eau	0331569242	juxessolinski@yahoo.com
SAIGNY Merjoie Rosette	Assistante Coordinatrice Régionale WASH	0324040062	bellerosette@yahoo.fr
RAKOTOMANGA Louis Roland	Responsable Développement local ACORDS	0332473982	rlouisroland@gmail.com
RASAONDRAMAN ITRINIAINA Marie Madeleine	Chargé d'Etudes Santé scolaire	0331473355	sammanitra@yahoo.fr
RAZANATSALAMA Samuel	Chargé d'Etudes Min Education Nationale	0337240424	



## Annexe 2 : Plan d'Opération

### Plan d' operation (PO) (ebouche)

Contenu des travaux	Année		2ème Année																
	Exercice			2010															
	2009	2011																	
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
[Travaux en site]																			
[0] Explication, discussion du plan d'exécution(ebauche) , explication des problms du projet	■																		
[1] Explication, discussion du plan d'exécution(version définitif) et acceptation du PDM/PO						■													
[2] Amélioration des capacités de gestion et maintenance des comités de point d'eau																			
(A)Etude de situation actuelle de gestion et maintenance d'installation hydraulique			■																
(B)Etablissement de programme des activités						■													
(C) Les activités concernant amélioration des capacités de gestion et maintenance des comités de point d'eau																			
(D) Les activités concernant Amélioration des capacités de réparation et de réhabilitation																			
[5] Amélioration du programme de formation pour les activités d'éducation sanitaire et de sensibilisation à l'hygiène et du matériel pédagogique, et formation des leaders			■																
Etude de base sur les installations sanitaires et les comportements en matière d'hygiène(accomplie)																			
Etude et amélioration du programme et des matériels de formation pour les activités d'éducation sanitaire et de sensibilisation à l'hygiène de la Direction régionale de l' Education Nationale et de la Direction régionale de la Santé(accomplie)																			
(C-1) Mise en place d'installations pour la formation et l'éducation en matière d'hygiène dans les sites disposant d'un centre de santé et d'une école primaire (Terminé en partie, équipements achetés)			●	●	●	●	●	●	●										
(C-2) Formation pour les responsables au niveau du district des activités d'éducation sanitaire et de sensibilisation à l'hygiène(5fois) (1er fois accomplie)																			
(C-3) Formation des praticiens des activités en matière d'éducation sanitaire et de sensibilisation à l'hygiène au niveau des villages(4fois)																			
(C-4) Mise en place d'installations sanitaires et étude de l'impact sur les comportements en matière d'hygiène																			
(C-5) Amélioration du programme et des matériels de formation pour les activités d'éducation sanitaire et de sensibilisation à l'hygiène de la Direction régionale de l' Education Nationale et de la Direction régionale de la Santé																			
[6] Soutien aux activités d'éducation sanitaire et de sensibilisation à l'hygiène des enfants et des habitants par les praticiens au niveau des villages (employés des centres de santé, vulgarisateurs bénévoles et instituteurs)																			



マダガスカル国アッチモ・アンドレファナ県における  
給水施設維持管理能力と衛生行動改善計画プロジェクトにかかる  
業務実施計画書についての  
国際協力機構（JICA）および  
マダガスカル国政府関係機関との間における  
議事録

2009年11月18日、アンタナナリボにて

---

RANDRIAMAHERISOA Alain  
治水省総局長

---

安藤 雄介  
プロジェクト総括

証人：

---

佐々木洋介  
ミッション総括

---

RASAHONDRAMANITRINIAINA Marie  
Madeleine  
教育省・保健学校教育調査担当

---

MAFILAZA Victor  
保健家族計画省・モニタリング担当  
DioranoWASH 副コーディネーター

2007年7月8日に国際協力機構（以下 JICA という）とマダガスカル共和国政府機関との間で調印された協議議事録（以下 R/D という）と 2009年10月8日に同じく両機関の間で調印された RivisedR/D に基づき、「マダガスカル国アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理能力と衛生行動改善計画プロジェクト」（以下プロジェクトという）について、JICA は、安藤雄介氏を総括とする日本人専門家プロジェクトチームを、2009年11月7日からマダガスカルに派遣した。JICA 本部はまた、佐々木洋介客員専門員を総括とする運営指導調査団を、プロジェクトの第二年次活動開始するにあたり派遣した。

2009年11月9日に、プロジェクトチームは治水省、保健省、教育省に対して業務実施計画書を提出し、同計画書の内容は、治水省 Alain RANDRIAMAHERISOA 氏を議長として 2009年11月16日アンタナナリヴォのパノラマホテル会議場で開催された合同調整委員会（以下 JCC という）において協議された。

1. 業務実施計画書における衛生分野の活動についての承認

業務実施計画書における衛生分野の活動について、本 JCC で承認され、実施される。

2. 業務実施計画書における給水維持管理分野の活動の方針修正について

業務実施計画書における給水維持管理分野の活動については、マダガスカル側のセクター政策・戦略、「マ」国水法(Code de l'Eau)及びその利用に関する関連規定(Décrets)に合致しないため、現況の再調査の後、日本側と「マ」国側が協働で活動計画の修正を行い、次回 JCC にて修正された業務実施計画書の承認を得る。

3. PO(作業計画)の承認

添付2にある PO が本 JCC にて承認された。

4. CP および CP 側負担についての確認

省庁の人事再編に伴い変更された C/P 人事と彼らの活動費用のマダガスカル側の予算措置が確認された。

5. プロジェクト文書に係る変更について

PDM と PO は R/D に添付され、R/D の署名により承認を得ているが、今後これら文書の修正及び承認は JCC にて行われ JCC のミニッツにて署名される。

別添 1: JCC 参加者リスト

別添 2: PO (暫定版)



**PROCES-VERBAL DE DISCUSSIONS**

**ENTRE**

**L'AGENCE JAPONAISE DE COOPERATION INTERNATIONALE (JICA)**

**ET**

**LES AUTORITES CONCERNEES DU GOUVERNEMENT  
DE LA REPUBLIQUE DE MADAGASCAR**

**SUR**

**LE PDM (CADRE LOGIQUE) REVISE (VERSION 2)**

**POUR LE PROJET D'AMELIORATION DE LA GESTION DES SYSTEMES  
D'APPROVISIONNEMENT EN EAU POTABLE ET DES COMPORTEMENTS EN  
MATIERE D'HYGIENE DANS LA REGION ATSIMO-ANDREFANA,  
MADAGASCAR**

Antananarivo, le 22 Avril 2010



Monsieur RANDRIAMAHERISOA Alain  
Directeur Général  
Ministère de l'Eau  
République de Madagascar  
(Directeur du Projet)

Monsieur Yusuke ANDO  
Chef de l'équipe du Projet  
Agence Japonaise de Coopération Internationale

Témoignés par :

Monsieur Yosuke SASAKI  
Chef de Mission de Consultation  
Agence Japonaise de Coopération Internationale

Madame RAZANAMAHERY Noro  
Assistante Technique à la Direction Générale  
Vice-Primature chargée de la Santé Publique

Madame RAMAROLAHY Fanja  
Chargée d'études à la Direction de l'Education  
Scolaire et de l'Alphabétisation  
Ministère de l'Education Nationale

Conformément au procès-verbal de discussion (désigné ci-après «R/D») signé le 08 juillet 2008 ainsi qu'au procès-verbal révisé signé le 08 octobre 2009 entre l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désigné ci-après «JICA») et les autorités concernées du Gouvernement de la République de Madagascar, relatifs au «Projet d'Amélioration de la Gestion des Systèmes d'Approvisionnement en Eau Potable et des Comportements en matière d'Hygiène dans la Région d'Atsimo Andrefana de la République de Madagascar» (désigné ci-après «Projet»), le Gouvernement du Japon, par le biais de la JICA a envoyé à Madagascar l'équipe d'experts Japonais du Projet mené par Monsieur Yusuke ANDO le 20 Avril 2010. Le siège de la JICA a également envoyé une mission de consultation menée par Monsieur Yosuke SASAKI pour la discussion sur les modifications du PDM (Cadre Logique).

Le 22 Avril 2010, l'équipe du Projet a organisé une réunion du Comité Conjoint de Coordination du Projet (désigné ci-après «JCC») présidée par Monsieur Alain RANDRIAMAHERISOA, Directeur Général du Ministère de l'Eau, dans la salle de réunion de l'Hôtel PANORAMA, Antananarivo. A cette occasion, les contenus des activités du Projet ont été présentés et discutés sur la base du PDM révisé (version 2).

### **1. Approbation du PDM version 2**

Le PDM version 2 joint en Annexe2 a été approuvé lors du présent JCC et sera mis en oeuvre en conséquence.

### **2. Approbation de la priorisation de réhabilitation des 24 sites du projet**

La priorisation de réhabilitation des 24 sites du projet a été approuvée lors du présent JCC.

### **3. Prolongation de la durée du projet**

La prolongation de la durée du projet est approuvée avec la mise en place du système de gestion et de suivi, qui sera étendue dans les 4 districts. Néanmoins, cette prolongation fera l'objet d'une discussion entre les deux parties.

### **4. Suggestion de remplacement des sites pour le renforcement de capacités des gestionnaires**

Du fait de l'intervention d'autres bailleurs dans les localités de Sakaraha, d'Ankazoabo et de Manombo Sud, il est recommandé de les remplacer par d'autres sites répondant aux critères de sélection initialement convenus dans le PV de discussion (R/D) signé le 08 Juillet 2008 par les deux parties. Ces sites de remplacement seront proposés ultérieurement

### **5. Suggestion de collaboration avec les partenaires**

Il a été suggéré de:

i) collaborer avec les autres partenaires tels que la plate-forme WASH pour échanger les bonnes pratiques et les expériences ii) intégrer le «comité d'accompagnement» en matière de maîtrise d'ouvrage communale etc...

### **6. Viabilité financière du projet**

Afin de sécuriser la continuité du projet, la partie japonaise invite la partie Malagasy d'inscrire le projet dans le Programme d'Investissements Publics (PIP).

### **7. Evaluation du projet**

La partie Malagasy a requis la conduite d'une évaluation à mi-parcours et d'une évaluation finale du projet.

**Annexe 1 : Liste de participants de la réunion du JCC**

**Annexe 2 : PDM version 2**





# Annexe 1 : Liste de participants de la réunion du JCC

## Liste des participants de JCC

Date : 22/4/2010

Lieu : Hotel Panorama

Nom et prénom (Lettre en bloc)	Fonction	Affiliation	Numéro de téléphone	Adresse e-mail
RAZANAMAHERY Noro	Assistant technique	Direction Générale de la Santé	0331265056	nororazanamahery@yahoo.fr
RADAOROZANDRY Jacques	Chargé d'études	DSS / MEN	0320490051	
SAIGNY Merjoie Rosette	Assistante Coordinatrice Régionale Sud ouest	Diorano-WASH	0324040062	
ANJARASOA Victorine Edson	Coordinatrice Régionale Sud Ouest	Diorano-WASH	0324285646 / 0330441418 / 0342910378	anjarasoatamafa@yahoo.fr
RAKOTONDRAINIBE Herivelo	Coordonateur National	Diorano-WASH	0320710060	rjherivelo@yahoo.fr
RAZAKAMAHEFA Serge	Representant du Service SSEUV	Ministere de la Santé	0343880644	
RAMAROLAHY Fanja	Representante	Ministere de l'Education Nationale	0320241909	
KOTOVAOARIVELO Jux S.	Directeur Regional a Atsimo Andrefana	Min Eau	0331569242	juxsolinski@yahoo.com
RAZAFIMANDIMBY Julson Paul	Chef de service SOP	DRE Sud Ouest	0331201240 / 0324008149	julsonpaul@yahoo.fr
RAJOELISAONINA Alfred	Chef de Service Exploitation Eau Potable	Min eau	0332487821	arajoelisaonina@gmail.com
RASOAMANANA Simon Nirina	Chargé de Mission	Région Atsimo Andrefana	0343990498 / 0327552603	rsimonprenom@yahoo.fr
SASAKI Yosuke	Mission Leader	JICA HQ	(+81)3522698 96	sasaki.yosuke@jica.go.jp
RANDRIAMAHERISOA Alain	Directeur General	Min eau	0330533937 / 0340750809	alainjoeliniaina@yahoo.fr dg@mineau.gov.mg
ROBINIRINA Aubert	DAGRE	Min eau	0340750805	aubertrob@yahoo.fr
LOWE Lucky	country representative	WaterAid	0202262772	luckylowe@wateraid.org
ANDRIATAHINA Tiana	service communication	Min eau	0340123212 / 0331196867	scom@mineau.gov.mg
RAKOTOMANGA Louis Roland H	responsable developpement local	ACORDS-UE	0340862027 / 0332473982	ugpacords@moov.mg rlouisroland@gmail.com
RANJATOARIVONY Bruno	Charge d'etudes	Ministere de l'education nationale	0324489780	
ANDRIANANDRASANA Ony	Conseiller technique	JICA	0202230019	andrianandrasanaoni.MR@jica.go.jp
ONISHI Shizuka	Adjointe au representant resident	JICA	0331525339	onishi.shizuka@jica.go.jp
MAKI Yoshida	Associate expert	JICA	(+81)3522698 96	yoshida.maki@jica.go.jp
ANDO Yusuke	Project manager	RANOFIDIO	(+81) 367030510	yando@jat.co.jp
RAVEROARIBA Esther		PAEAR	0331560030 /	esther@paear.mg esther_ravero@yahoo.fr
YAMAZAKI Hitomi	Etude de Condition Sociale / Programme de Formation	RANOFIDIO	0330538107	hyamazaki@jat.co.jp
RAMINOSON Miora	Interprète	JICA	0337233158 / 0320252987	mikajy2@yahoo.fr
ANDRIAMIZAKA Carol	Interprète	RANOFIDIO	0320456492 / 0344358472	r.riza@yahoo.fr

*(Handwritten signatures and marks)*

Cible : 4 districts de la Région d'Atsimo Andrefana, dans lesquelles des Points d'Eau ont été installés dans le cadre de la Coopération Japonaise

Target Group: G1<Systèmes d'approvisionnement en eau potable> Direction Régionale du Ministère de l'Eau -Tuléar (DRE Tuléar), Commune, Gestionnaires (Comités de Point d'Eau (CPE),gestionnaire privée, commune)

G2<Système sanitaire/Education>Direction Régionale de l'Education Nationale (DREN) et Direction Régionale du Ministère de l'Eau(DRE), Circonscription Scolaire (CISCO), Zone Administrative Pédagogique (ZAP), Ecole Primaire Public (EPP), Direction Régionale de la Santé et des Affaires Sociales (DRS), Service de Santé du District (SSD), Centre de Santé de Base (CSB), Animateurs Sanitaires.

Project Period: Septembre 2008 -2011?2012 ?

ver.2

Date : 22/04/2010

RESUME NARRATIF		INDICATEURS OBJECTIVEMENT VERIFIABLES		MOYENS DE VERIFICATION		HYPOTHESES IMPORTANTES	
AVANT	APRES	AVANT	APRES	AVANT	APRES	AVANT	APRES
<p><b>Objectif Global:</b> L'amélioration de la gestion des systèmes d'approvisionnement en eau potable et des comportements en matière d'hygiène dans la Région d'Atsimo Andrefana.</p>	<p><b>Objectif Global:</b> Mise en place et Opérationnalisation de système de suivi de gestion et d'entretien des installations d'approvisionnement en eau potable et du mécanisme de sensibilisation en matière d'hygiène et assainissement, dans la région Atsimo Andrefana</p>	<p>La bonne pratique du Projet sera acquise par les organismes concernés du Projet et aura été appliquée hors du site du Projet.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Pourcentage d'Ouvrage fonctionnel dans la région Atsimo Andrefana va augmenter de XX% à YY%</li> <li>2. Pourcentage des commune qui envoient leurs rapports périodiques a la DRE va augmenter va augmenter à XX%</li> </ol>	<p>Rapport de gestion du comité de point d'eau et soumission de rapport périodique de DIR-MEM, de la DRSanPfs, de la DREN auprès de chaque Ministère concerné.</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Compte rendu des communes</li> <li>2. Donne d'inventaire</li> </ol>	<p>Il n'existe aucun changement de politique drastique relative à l'eau et au système sanitaire à Madagascar. L'appui au Projet par l'Administration au niveau central et régional et les organismes concernés se poursuit.</p>	<p>Il n'existe aucun changement de politique drastique relative à l'eau et au système sanitaire à Madagascar.</p>
<p><b>Objectif du Projet:</b> L'amélioration de la gestion des systèmes d'approvisionnement en eau potable et des comportements en matière d'hygiène dans la zone cible.</p>	<p><b>Objectif du Projet:</b> Mise en place et opérationnalisation du système de suivi de la gestion et de l'entretien des installation d'approvisionnement en eau potable et la dynamisation du mécanisme de sensibilisation en matière d'hygiène et assainissement, dans les 4 Districts cibles du Projet de la région Atsimo Andrefana</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. La situation financière du comité de point d'eau sera améliorée.</li> <li>2. La motivation des habitants dans la région ainsi que les comportements sur l'hygiène seront améliorés.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1- Sur les 29 communes restantes des 4 districts, la DRE va mettre en place et operationaliser le système de suivi de la gestion et de l'entretien des installation d'approvisionnement en eau potable dans XX communes</li> <li>2- Pourcentage de rapport periodique émanant de la commune à la DRE dans les 4 districts va augmanter de 0% à XX %</li> <li>3- Pourcentage d'ouvrage fonctionnel dans les 4 districts de la Région d'Atsimo Andrefana va augmenter de XX% à YY%</li> <li>4- Nombre d'EPP et de CSB dans les quatre districts cibles du Projet, qui profitent les formations organisées par la DREN et la DRS elles-mêmes en matière de la sensibilisation à l'hygiène et de l'éducation sanitaire.</li> <li>5- Rédaction de rapports et/ou organisations d'échanges trimestriels entre la DRS - SSD – CSB, sur l'encadrement et le suivi dans la matière,</li> <li>6- Rédaction de rapports et/ou organisations d'échanges semestriels entre la DREN - CISCO – ZAP- EPP, sur l'encadrement et le</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.Rapport de gestion du comité de point d'eau</li> <li>2.Rapport d'enquête de base et d'impact en matière d'éducation sanitaire et rapport d'activité de sensibilisation à l'éducation sanitaire.</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Rapport des activités des comités de points d'eau</li> <li>2. Rapport d'Etude de surveillance</li> <li>3. Rapport de l'Etude de base, rapport des activités, rapport de l'étude d'impact</li> </ol>	<p>Il n'existe aucun changement de politique drastique relative à l'eau et au système sanitaire à Madagascar. L'appui au Projet par l'Administration au niveau central et régional et les organismes concernés se poursuit.</p>	<p>Il n'existe aucun changement de politique drastique relative à l'eau et au système sanitaire à Madagascar. L'appui au Projet par l'Administration au niveau central et régional et les organismes concernés se poursuit.</p>

Résultat		INDICATEURS OBJECTIVEMENT VERIFIABLES		MOYENS DE VERIFICATION		HYPOTHESES IMPORTANTES	
AVANT	APRES	AVANT	APRES	AVANT	APRES	AVANT	APRES
1. Renforcement de la gestion des systèmes d'approvisionnement en eau potable du comité de point d'eau.	1. L'approche de renforcement des capacités d'encadrement en matière de gestion des infrastructures d'eau et d'assainissement au niveau des communes et des Fokontany et capacité de coordination des organismes concernés dans le secteur des agents de la DRE sera mise en place	1-1. Le manuel (gestion organisationnelle - entretien quotidien) de gestion du comité de point d'eau sera révisé. 1-2. Le comité de point d'eau apprendra par le biais de la formation.	1- 1. Jusqu'à la fin de la 2e Année, des agents (3) de la Direction régionale atteindront le niveau de réussite de l'examen pratique de facilitateur pour les communes et Fokontany. 1-2. Jusqu'à la fin de la 2e Année, des techniciens (8) de la Direction régionale (DRE) réussiront l'examen pratique des techniques de réparation. 1. 3. Jusqu'à la fin du projet, les organismes concernés par l'approvisionnement en eau et l'hygiène se réuniront une fois par semestre sous la direction de la DRE.	Le rapport du comité du point d'eau, manuel de gestion du point d'eau (gestion organisationnelle et entretien quotidien) et rapport du Projet.	· Rapport de formation de commune, enquête après la formation · Résultats de l'examen pratique des techniques de réparation · Procès-verbal de la réunion, Rapport annuel des activités	La politique d'approvisionnement en eau et d'assainissement du gouvernement malgache ne sera pas largement modifiée.	La politique d'approvisionnement en eau et d'assainissement du gouvernement malgache ne sera pas largement modifiée.
2. Amélioration de la capacité de maintenance/l'aptitude du personnel de la DIR-MEM et des techniciens locaux des comités de point d'eau.	2. L'approche de renforcement des capacités de gestion de la commune sur ses installations d'approvisionnement en eau sera mise en place en tant que maître d'ouvrage et les capacités de supervision vis-à-vis des gestionnaires délégués seront aussi augmentées.	2-1 Le manuel d'entretien des infrastructures des systèmes AEP et des pompes manuelles sera révisé. 2-2 Le personnel de la DIR-MEM (3 personnes) et les techniciens de comité de point d'eau (20 personnes) apprendront par le biais de formation les techniques d'entretien et de réparation. 2-3 Les personnes formées en 2-2 de la DIR-MEM et du comité de point d'eau procéderont à la réparation d'au moins deux (2) points d'eau. 2-4 Les six (6) techniciens dont trois (3) puisatiers de la DIR-MEM auront une formation sur-le-tas, sur la réhabilitation de forages (nettoyage). 2-5 La DIR-MEM fournira une orientation technique en matière de réparation et d'entretien des points d'eau au niveau d'au moins dix (10) comités de point d'eau hors de la zone cible.	2. 1. Jusqu'à la fin du projet, les 16 communes concernées expliqueront le rôle des communes à au moins 3 Fokontany en dehors des 24 sites concernés. 2-2 Les 16 communes concernées feront un rapport trimestriel à la direction régionale sur l'état des systèmes (fonctionnement, gestion) d'approvisionnement en eau dans leur territoire respectif à l'aide du manuel de suivi	Le rapport du comité du point d'eau, manuel de gestion du point d'eau (gestion organisationnelle et entretien quotidien) et rapport des experts japonais (en forage et en alimentation d'eau AEP).	· Rapport des formations sur site, enquête après formation · Rapport de surveillance pour les communes · Enquête menée une autorité de contrôle auprès des communes · Audit technique et financier		
3. Amélioration des capacités de l'administration en matière d'éducation sanitaire et de promotion de l'hygiène au niveau des directions régionales (éducation et santé).	3. L'approche de renforcement des capacités des gestionnaires des installations d'approvisionnement en eau au niveau des Fokontany et Village sera mise en place.	3-1 L'enquête sur KAP sera exécutée dans la première et la dernière année du projet et leurs rapports seront établis. 3-2 Le contenu du programme de formation et les matériels nécessaires à cette formation au sein de la DREN sur l'éducation sanitaire et	3-1. Jusqu'à la fin de la 2e Année, le fonctionnement et l'inspection quotidienne des ouvrages auront lieu conformément au manuel d'entretien sur les 24 sites concernés.	Le programme de formation et le rapport de formation.	· Rapport de surveillance de l'équipe du projet · Audit des relevés de compte bancaire des livres de registre et autres pièces comptables		



		<p>amélioré (en matière d'éducation sanitaire), la DREN organisera au moins une formation par an en faveur de CISCO et de ZAP.</p> <p>3-4 Le contenu du programme de formation et les matériels nécessaires sur l'éducation sanitaire et l'hygiène de la DRSanPFPs seront améliorés.</p> <p>3-5 Sur la base du programme amélioré (sensibilisation sur l'hygiène), la DRSanPFPs organisera au moins une formation par an aux niveaux des CSB et à l'endroit des animateurs sanitaires.</p>	<p>3. 2. Jusqu'à la fin de la 2e Année, un registre des dépenses et des recettes sera tenu par les gestionnaires des 24 sites.</p> <p>3. 3. Jusqu'à la fin de la 2e Année, les gestionnaires des 24 sites feront un rapport mensuel à la commune.</p>		des courriers arrivés des communes	
<p>4. Amélioration des motivations et comportements en matière d'hygiène de la population locale des sites du projet au niveau desquels il existe des écoles et des CSB.</p>	<p>4. Amélioration des activités de sensibilisation à l'hygiène et d'éducation sanitaire des organismes administratifs liés à l'hygiène dans la région cible (direction régionale du Ministère de l'Education Nationale, direction régionale du Ministère de la Santé publique, écoles et centres de santé).</p>	<p>4-1. Au niveau de la zone cible, le personnel de CSB (au moins 10), les animateurs (au moins 20) et les enseignants des écoles (au moins 20) recevront une formation spéciale.</p>	<p>4. 1. Jusqu'à la fin du Projet, validation officielle du programme améliorée de formation (en matière de sensibilisation à l'hygiène et d'éducation sanitaire) par les acteurs concernés dans le domaine</p> <p>4.2 Jusqu'à la fin de la 2e année du Projet, programmation d'un projet de formation par la Direction régionale de l'éducation et aussi par la Direction régionale de la Santé publique à l'aide du programme de la formation améliorée en sensibilisation à l'hygiène et éducation sanitaire.</p> <p>4. 3. Les enseignants, les directeurs et les parents d'élève dans plus de 20 EPP des sites du Projet ayant suivi la formation élaborent des programmes d'activité en matière d'éducation sanitaire et les réalisent régulièrement au niveau de écoles.</p> <p>4. 4. Les chefs ZAP en charge de l'EPP respective ayant suivi la formation, assurent l'encadrement et suivi des activités en 4.3. citées au-dessus.</p> <p>4. 5. Les agents de plus de 20 Centre de santé de base (tous) dans les sites du Projet ayant suivi la formation, assurent l'encadrement et suivi des agents communautaires (volontaires).</p>	<p>Le rapport de l'enquête de base et l'étude d'impact, le rapport de l'expert japonais en éducation sanitaire et sensibilisation à l'hygiène.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>· Rapport périodique des activités d'hygiène des écoles</li> <li>· Rapport périodique des activités d'hygiène des centres de santé</li> <li>· Rapport des activités des écoles</li> <li>· Programme de formation, rapport de formation</li> <li>· Rapport de surveillance</li> </ul> <p>La synthèse des résultats et des leçons tirées du Projet.</p>	
<p>5. Présentation des résultats et des leçons tirées du Projet au niveau de toute la Région Atsimo Andrefana et à l'échelle nationale.</p>		<p>5-1 La synthèse des résultats et les leçons tirées du Projet sera distribuée (sous forme de guide) auprès des organismes concernés par le Projet.</p>				

Handwritten signatures and initials on the right margin, including a large 'A' and other illegible marks.

マダガスカル国アッチモ・アンドレファナ県における  
給水施設維持管理能力と衛生行動改善計画プロジェクトにかかる

修正版 PDM(PDM version2)についての

国際協力機構（JICA）および

マダガスカル国政府関係機関との間における

議事録

2010年04月22日、アンタナナリボにて

---

RANDRIAMAHERISOA Alain  
治水省総局長(RANOFIDIO ディレクター)

---

安藤 雄介  
プロジェクト総括

証人：

---

佐々木洋介  
ミッション総括

---

RAZANAMAHERY Noro  
公衆保健担当副首相府  
総局技術アシスタント

---

RAMAROLAHY Fanja  
教育省学校教育・識字局調査担当

2007年7月8日に国際協力機構（以下 JICA という）とマダガスカル共和国政府機関との間で調印された協議議事録（以下 R/D という）と 2009年10月8日に同じく両機関の間で調印された Rivised R/D に基づき、「マダガスカル国アッチモ・アンドレファナ県における給水施設維持管理能力と衛生行動改善計画プロジェクト」（以下プロジェクトという）について、JICA は、安藤雄介氏を総括とする日本人専門家プロジェクトチームを、2010年4月18日からマダガスカルに派遣した。JICA 本部はまた、佐々木洋介客員専門員を総括とする運営指導調査団を、PDM 修正の協議にあたり派遣した。

2010年4月18日に、プロジェクトチームは治水省 Alain RANDRIAMAHERISOA 氏を議長としてアンタナナリヴォのパノラマホテル会議場で合同調整委員会（以下 JCC という）を開催し、PDM version2 に基づきながらプロジェクトの活動内容が発表され、協議された。

### **1. PDM version2 の承認**

添付 2 にある PDM version2 が本 JCC にて承認され実施される。

### **2. 24 プロジェクトサイトにおける改修優先順位についての承認**

24 プロジェクトサイトの改修優先順位について承認された。

### **3. プロジェクト期間の延長について**

給水維持管理・モニタリング体制の確立を 24 サイト以外の対象 4 郡まで対象にすることに伴い、プロジェクト期間の延長が承認された。延長期間については両者により協議される。

### **4. 給水分野の能力強化に係る対象サイトの差し替えについての提案**

他ドナーによる介入により、現対象サイトの Sakaraha、Ankazoabo、Manombo Sud については他サイトと代替すること、その代替サイトは 2008年7月8日に両者により締結された R/D の優先規準に沿ったサイトが選ばれることが推奨された。代替サイトについては今後提案が行われる。

### **5. 他パートナーとの協力についての提案**

以下について提案がなされた：

- i) プラット・フォーム WASH のような他パートナーと協働し、他パートナーのグッド・プラクティスや経験について意見交換を行うこと
- ii) “コミュニケーションによる施設管理アプローチに係る調整委員会”等に参加すること

### **6. プロジェクト事業実施に係る予算の持続性**

プロジェクトの持続性を担保するために、日本側は先方に対し“公共投資プログラム (Programme d'Investissements Publics(PIP))”を使って予算確保のアクションを取ることを依頼した。

### **7. プロジェクト評価について**

先方はプロジェクト中間評価と終了時評価の実施を要求した。

別添 1： JCC 参加者リスト

別添 2： PDM version2